

ニヨリ處理スヘキモノトス

第二條 債務訴訟ニヨリ裁判ニヨリ競賣ニ付セラレタル財産ニ關シテハ競賣確定後落札者ハ先ツ法院ヨリ臨時競賣證書ヲ受ケ地畝管理
理局ニ報告シ本規定ニヨリ審査ヲ經第三條所定各項ニ違反セサルトキハ許可證ヲ交付セラル落札者ハ更ニ許可證ヲ法院ニ提示シ正
式競賣證書ノ交付ヲ申請スルモノトス

第三條 讓受人又ハ競賣落札者カ左記各項規定ニ該當スルモノナルトキハ移讓名義變更ノ登記ヲ許可ス

甲、支那國家ノ法律及地方ノ法令ヲ遵守スル者

乙、過激思想ヲ有セス且確實ナル商會又ハ商店ニ軒ノ保證ヲ有スル者

丙、五年以上居住シ正當ナル職業ヲ有シ且品行方正ナル者

丁、其ノ土地ヲ自ラ用キ又ハ其ノ土地ニ於テ自ラ營業ヲナス者

戊、市政一切ノ課金ヲ期日ニ納付シ滞納セサル者

民國十六年十二月

局長 張 煥 相

第二節 土地事務管掌機關

地畝管理 東省特別區土地事務管掌ノ中央機關ハ東省特別區地畝管理局である。地畝管理局長ハ東省特別區行政長官ノ管
轄の下に東省特別區内の總ての土地を管理し同局職員を統制する。(東省特別區地畝管理局章程第一條、以下これ
に準ず)

局長の補助機關として、副局長、總務、經租、調査科長がある(第二條、第三條)。

總務科は左の事務を分掌す。

イ、分局ノ設置及閉鎖、分局ノ管轄境界ノ決定

ロ、管理局及分局職員ノ執務成績考査

ハ、管理局ノ經費收入、豫算ノ編成、審査、計算、出納

ニ、農業ノ助成、殖林、保林

ホ、管理局ノ文書保管

ヘ、文書ノ收發

ト、統計、報告ノ作成

チ、管理局印刷物ニ關スル事項

リ、管理局所要物品ノ購入並他科ノ管掌セサル事項

經租科は左の事務を分掌す。

イ、土地ノ管理

ロ、土地ノ貸付

ハ、借地權ノ讓渡

ニ、借地證ノ作成

ホ、借地料

ヘ、地區ノ登記

ト、官有地ノ管理

調査科は左の事務を分掌す。

- イ、土地ノ調査
- ロ、土地ノ測量
- ハ、土地ノ區劃、圖面ノ作成
- ニ、圖面ノ審査及建物ノ建築

特別區地畝管理局の地方行政機關として、地畝管理局分局を置く。各分局所在地並管轄區域左の如し。註

所在地

管轄區域

- 第二分局 (審門) 五家、寬城子間
- 第三分局 (一面坡) 阿什河、橫道河子間
- 第四分局 (綏芬河) 三大窩集、綏芬河間
- 第五分局 (安達) 對青山、札蘭屯間
- 第六分局 (海拉爾) 哈拉蘇、滿洲里間

註1 「東省特別區地畝管理局分局章程」第一條

註2 哈爾濱第一分局は、一九二五年廢止、管理局之を直轄するに至つた。

各分局に委員一名を置く。(第三條)、委員の職務は

- 一、土地の面積並地質調査
- 二、借地料の徴收
- 三、地區の地均し
- 四、地區建築の監視

五、技術的事務の監督

六、農林業の調査

七、土地管理改良方法の考案 (第四條)

委員は其の職務遂行に當りては警察の援助を受ける事を得る (第五條)。各分局には、委員の他、翻譯員、技師、經租等がある (第三條)。

東省特別區地畝管理局役員 (一九二九年一月現在)

局長	應振復
副局長	宋壽山
總務科長	劉應桂
經租科長	張兆福
調查科長	朱振元
秘書	關鴻翼
同	高樹升

商事的經營に依る土地收入

年次	短期貸下地收入	長期員下地收入	合計
自一九二一年至一九二二年	六〇、三八八・〇〇	一、六八四、一八三・五〇	一、七四四、五七一・五〇
自一九一九年至一九二〇年	一、九五四、三七一・一〇	一、二五三、五二九・八一	三、二〇七、九〇〇・九一
自一九一四年至一九一五年	二〇七、七五〇・九九	一三三、三三三・五〇	三四一、〇六四・四九

一九一五年	二六六、八五六・八〇	一七三、八七三・二八	四四〇、七三〇・〇八
一九一六年	三〇一、七三四・六六	四八二、二六三・九六	七八三、九九八・六二
一九一七年	三五五、八五三・五六	七八九、三三六・三七	一、一三五、〇八九・九三
一九一八年	五二六、八四八・一二	二、八三三、四六六・九三	三、三六〇、三一五・〇五
一九一九年	一、八七八、四〇四・五五	三八、〇二五、五九七・八五	三九、九〇四、〇〇二・四〇
一九二〇年	三七六、七五三・七七	二九一、四四五・七七	六六八、一九九・五四
一九二一年	五四九、四七四・九〇	四九四、〇一九・四〇	一、〇四三、四九四・三〇
一九二二年	八一五、〇〇〇・〇〇	八九七、〇〇〇・〇〇	一、七二二、〇〇〇・〇〇
合計	六、九六三、〇九五・三三	四六、五九一、三六九・一五	五三、五五四、四六四・四八

東省特別
區地畝管
理局章程

註1

東省特別區地畝管理局章程

- 第一條 地畝管理局ニ局長一名ヲ置ク局長ハ東省特別區行政長官ニ隸屬シ東省特別區内ノ總土地ヲ管理シ同局職員ヲ統制ス
- 第二條 地畝管理局ニ副局長一名ヲ置ク副局長ハ局長ノ命ヲ承ケ地畝管理局事務ヲ輔佐ス
- 第三條 地畝管理局ニ左記三科ヲ置ク
 - 總務科
 - 經租科
 - 調査科

各科ニ科長一名ヲ置ク科長ハ局長ノ命ヲ承ケ各科ノ事務ヲ總指ス

第四條 總務科ノ管掌事項左ノ如シ

イ、分局ノ設置及閉鎖並分局ノ管轄境界ノ決定

ロ、管理局及分局職員ノ執務成績考査

ハ、管理局ノ經費、收入、豫算ノ編成、審査、計算、出納

ニ、農業ノ助成、殖林、保林

ホ、管理局ノ文書保管

ヘ、文書ノ收發

ト、統計、報告ノ作成

チ、管理局ノ印刷物ニ關スル事項

リ、管理局所要物品ノ購入並ニ他科ノ管掌ニ屬セサル其他事項

第五條 經租科ノ管掌事項左ノ如シ

イ、土地ノ管理

ロ、土地ノ貸付

ハ、借地權ノ讓渡

ニ、借地證ノ作成

ホ、借地料

ヘ、地區ノ登記

ト、官有地ノ管理

第六條 調査科ノ管掌事項左ノ如シ

イ、土地ノ調査

ロ、土地ノ測量

ハ、土地ノ區畫、圖面ノ作成

後篇 第三章 東省特別區土地管理地

ニ、圖面ノ審査及建物ノ建築

- 第七條 地區管理局ニ秘書二名ヲ置ク秘書ハ局長ノ命ヲ承ケ重要且秘密事項ヲ取扱フ
- 第八條 地畝管理局ニ科員數名ヲ置ク科員ハ局長ノ命ヲ承ケ各科ノ事務ヲ輔佐ス
- 第九條 地畝管理局ニ技師數名ヲ置ク技師ハ局長ノ命ヲ承ケ技術的業務ヲ掌ル
- 第十條 地畝管理局ニ翻譯員數名ヲ置ク翻譯員ハ局長ノ命ヲ承ケ各科ノ翻譯事務ヲ掌ル
- 第十一條 地畝管理局ニ稽查員數名ヲ置ク稽查員ハ局長ノ命ヲ承ケ東支鐵道沿線土地事務ヲ稽查ス
- 第十二條 地畝管理局ハ文書ノ謄寫其他特殊事務ヲ分掌セシムルタメ辦事員及雇員ヲ置クコトヲ得
- 第十三條 地畝管理局ハ土地事務、農業及營林改善ノタメ顧問、參議及諮議ヲ招聘スルコトヲ得
- 第十四條 地畝管理局執務細則ハ之ガ作成後局長ノ手ヲ經テ特別區行政長官ノ認可ヲ經ヘシ
- 第十五條 本章程ニ追加、變更並訂正ヲ要スル場合ハ局長之ヲ行政長官ニ申請スヘシ
- 第十六條 本章程ハ行政長官ノ認可ヲ經タル日ヨリ實施ス

註² 東省特別區地畝管理局分局章程

- 第一條 東省特別區ニ左記地畝管理局分局六局ヲ置ク但シ地方の事情ニ依リ新ニ分局ヲ設ケ若ハ舊分局ヲ廢止スルコトヲ得
- 註 哈爾濱第一分區ハ一九二五年春廢止セラレ同分局所轄事項ハ管理局之ヲ直轄スルニ至レリ
- イ、第二分局委員ハ審門ニ駐在シ其管轄區域ハ五家寬城子間トス
- ロ、第三分局委員ハ一面坡ニ駐在シ其管轄區域ハ阿什河、橫道河子間トス
- ハ、第四分局委員ハ綏芬河ニ駐在シ其管轄區域ハ三大窩集、綏芬河間トス
- ニ、第五分局委員ハ安達ニ駐在シ其管轄區域ハ對青山、札蘭屯間トス
- ホ、第六分局委員ハ海拉爾ニ駐在シ其管轄區域ハ哈拉蘇、滿洲里間トス

第二條 地畝管理局分局ハ臨時彙ニ東支鐵道管理局土地課ノ設定セル沿線事務所々在地ニ從ヒ重要地點ニ設定ス

第三條 各分局ニ委員一名ヲ置ク委員ハ地畝管理局局長ノ手ヲ經テ行政長官之ヲ任命ス

翻譯員、技師、經租(借地料集金人)ハ分局ノ手ヲ經テ管理局局長之ヲ任命ス

第四條 委員ノ職務左ノ如シ

- イ、土地ノ面積並地質ノ調査
- ロ、借地料ノ徵收
- ハ、地區ノ地均シ
- ニ、地區ノ登記
- ホ、地區建築ノ監視
- ヘ、技術的業務ノ監督
- ト、農林業ノ調査
- チ、土地管理改良計畫ノ作成

委員ハ右職務ノ遂行ニ關シ適時管理局局長ニ報告スヘシ

第五條 委員ハ其職務遂行ニ當リ重要ナル事件ニ就イテハ警察ノ援助ヲ受クルコトヲ得

第六條 此章程ハ認可ヲ經タル後實施ス

本章程ニ不完全若ハ曖昧ナル點ヲ發見シタル時ハ其增補訂正ヲ申請スルコトヲ得

註³ 東省特別區地畝管理局短期貸付暫行規則

- 第一條 東省特別區内ノ既ニ貸付ケタル若ハ未タ貸付ケサル總テノ土地ノ建物、耕作、其他ニ對スル短期貸付ハ本規則ニ據ルヘシ
- 第二條 土地ヲ繼續借地スル借地人ノ借地證ハ再作成ノ必要ナン借地人間ニ地區境界ニ關スル紛糾ヲ生シタル時ハ地畝管理局ニ申請

シテ正確ナル境界ノ設定ヲ受クヘシ

第三條 新ニ貸付クル土地ハ各借地人毎ニ番號ヲ附シ特別ノ杭ヲ以テ其境界ヲ指示シ各番號毎ニ境界ヲ明カニシ以テ一人ノ手ニ土地ヲ收メ利益ヲ收ムルタメニ他人ニ讓渡スルヲ防止スヘシ但シ新ニ貸付クヘキ草地、牧地、米作用土地ハ例外トシ唯地畝管理局ハ重要ナル場合ト認メタル時ハ之ニ關スル規則ニ依ルコトナク適當ナル方法ヲ以テ貸付クルコトヲ得

第四條 耕地、若ハ草地、牧地ヲ繼續借地セル者ハ從前ノ面積ヲ借地スルコトヲ得若シ從前ノ借地面積ヲ超ユル面積ノ借地ヲナスコト許可セラレタル場合ハ現借地人優先權ヲ有シ規定ニ從ヒ借地料ヲ納入スヘシ但シ新ニ借受クヘキ面積ハ從前ノ借地面積ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條 建築ノ目的ヲ以テ短期土地ヲ繼續借地シ從前ノ地代納入ノ證ヲ有シ若ハ一時ニ納入セル者ハ引續キ借地スルコトヲ得但シ借地料納入期限ヲ經過シテ尙納入セサル借地人ハ將來借地權ヲ喪失ス

第六條 地畝管理局ハ必要且可能ノ場合ニ於テハ各驛ノ地方事情並借地權希望者ノ數ニ依リ建築ノ目的ヲ以テ短期貸付ヲナスコトヲ得貸付ニ先チ管理若ハ土地ヲ實地ニ測量シ地區番號ヲ附シ境界杭ヲ打テ行政長官ノ承認セル價格ニ依リ貸付クル旨公告ス一人ニ付一番號以上ノ貸付ヲナスコトヲ得ス

第七條 農耕用土地及建築用土地短期借地權ヲ有スル繼續借地人ニ對スル借地期間ハ當初ノ契約條件ニ依ル

第八條 農耕用土地及建築用土地ニ對スル短期借地權ヲ有スル新借地人ニ對スル貸付期間ハ一年トス但シ特別ノ事情アル場合ハ地畝管理局ノ手ヲ經テ行政長官ニ貸付期間ノ變更ヲ申請スルコトヲ得

第九條 農耕用土地及建築用土地ニ對スル借地料ハ同地方ノ經濟的事情並ニ地質ニ從ヒ一年一回之ヲ制定ス地畝管理局ハ適時借地料ノ認可ヲ行政長官ニ申請ス

第十條 若シ農耕用土地若ハ建築用土地ニシテ新ニ貸付ケラル、カ若ハ右土地ノ借地權カ剝奪セラレ此土地ヲ他ノ者ニ貸付クル場合ハ此等土地ノ借入希望者ハ同土地ノ所在地ヲ示シ且ツ同土地ニ對スル規定料金ノ五%ノ手附金ヲ豫メ納入シテ地畝管理局若ハ其一分局ニ申請スヘシ管理局ハ右手附金ニ對シ受領證ヲ交付ス

第十一條 新借地人ニ對スル借地權附與方法ハ左記二種トス

イ、抽籤

ロ、入札

第十二條 地區數箇所ニシテ借地希望者數名アル時ハ抽籤ニ依ル

地區一箇所ニシテ借地希望者數名アル時ハ入札ニ依ル

一番號ノ地區ニ對シ借地希望者一名ナル時ハ地畝管理局ハ公告ヲ以テ同地區借受希望者ヲ募集ス

第十三條 抽籤ニ依リ地區ノ貸付ヲナス場合ハ地畝管理局ハ其ノ方法、時日及抽籤ノ場所ヲ抽籤ノ十日前ニ公告ス

抽籤ニ際シテハ地畝管理局ハ監督官吏ノ派遣ヲ行政長官公署ニ申請シ同時ニ裁判所、警察ノ代表者、同地方ノ有力者及商人等ヲ招テ現狀ニ立會ハシム借地希望者ハ手附金受領證ヲ持參シテ現場ニ至リ同受領證ヲ地畝管理局員ニ手交シテ其檢査ニ供ス

第十四條 抽籤ハ次ノ二種トス

イ、借地當選籤及落選籤

ロ、地區番號ニ對スル決定籤

第十五條 イノ籤札ノ尖端ハ赤色及ヒ黒色トス尖端赤色ハ當選トシ黒色ハ落選トス

第十六條 赤色籤札數ハ地區數ト同一トス若シ借地希望者數カ地區數ヲ超ユル時ハ其超過數タケ黒札ヲ増加ス

第十七條 抽籤ニ際シテハ之ヲ集會者全部ニ示シ然ル後函ノ中ニ收ム

抽籤ハ同地區ノ希望者順ニ指名シテ行フ

黒札ヲ抽キタル者ハ同札ヲ返シ同時ニ入所ニ際シテ係員ニ手交セル受領證ヲ受ケテ退場ス

第十八條 ロノ籤數モ亦地區番號數ト同シ赤札ヲ抽キタル者ハ所定時間内ニ之ヲ返却シ順次再ヒ抽籤ス

第十九條 抽籤後行政長官公署派遣ノ監督員ハ地畝管理局員ト共ニ各借地希望者ノ當選地區番號ヲ公表シ同番號ヲ記帳シ借地證ヲ交付ス

- 第二十條 入札ノ方法ニ依ル場合ハ地畝管理局ハ行政長官ノ承認セル規定ニ從ヒ最低借地料ヲ決定シテ其旨十日以前ニ告示ス
- 第二十一條 借地希望者ハ地畝管理局ノ公告セル最低借地料ノ5%ニ相當スル手附金ヲ支拂ヒ受領證ヲ受ク
- 第二十二條 地畝管理局ハ入札ノ公告前ニ入札函ヲ作製シ之ヲ綿密ニ封印シテ鎖錠ス
- 借地希望者ハ公告ニ依ル期間内ニ右ノ函ニ入札ス
- 第二十三條 開票當日ハ地畝管理局ハ行政長官公署ニ監督員ノ派遣ヲ乞ヒ且ツ裁判所、警察代表者、同地方ノ有力者及商人ヲ招聘シ現場ニ立會ハシム入札者ハ現場ニ至リ手附金納入ニ關スル受領證ヲ手交シテ検査ニ供ス若シ借地希望者自身カ現場ニ立會フ事能ハサルトキハ他人ニ委任スルコトヲ得
- 第二十四條 開票後手附金未納者及ヒ公告ニ依ル最低借地料以下ノ入札者ハ之ヲ除外シ其他ノ者ノ中最高借地料入札者カ借地證ヲ受ク
- 第二十五條 最高同額借地料入札者カ二名若ハソレ以上ノ場合ハ管理局員ハ行政長官公署監督員ノ立會ノ下ニ現場ニ於テ抽籤ノ方法ヲ用ヒテ當選者ヲ決定ス
- 第二十六條 抽籤者ハ入札ニ依ル借地證受領後十日以内ニ當該借地人ハ地畝管理局ニ手附金ヲ差引キタル借地料ヲ全納スヘシ地畝管理局ハ借地料受領證ヲ交付ス尙管理局ハ當該地區境界圖面ヲ附シタル短期借地證ヲ交付ス借地證ノ作成發行手數料ハ行政長官ノ承認セル規則ニ從ヒ之ヲ納入ス
- 第二十七條 抽籤者ハ入札ニヨル落選者ハ十日以内ニ手附金支拂ノ受領證ヲ携帶シテ地畝管理局ニ至リ手附金ノ返却ヲ受ク半箇年經過シテ尙手附金ノ返却ヲ申出テタル時ハ手附金ノ返却請求權ハ消滅ス
- 第二十八條 本規則ハ行政長官ノ認可ヲ經タル日ヨリ實施ス本規則ノ不完全ナル點ニ關シテハ其増補、訂正ヲ行政長官ニ申請ス

地區讓渡規則

註4

東省特別區地畝管理局地區讓渡規則 (一九二七年一月一日以降實施)

- 第一條 東省特別區宅地借地人ニシテ地區ノ讓渡ヲ受ケントスル者ハ總テ左記規定條項ニ遵ヒ其權利ヲ確保スヘシ
- 第二條 長期貸付タルト短期貸付タルトヲ問ハス宅地借地人ハ悉ク地區ノ讓渡ニ對シ讓渡額一千元毎ニ五元ヲ地畝管理局ニ納付ス
- 右金額ハ地畝管理局ヨリ讓渡許可ヲ受ケタル後讓渡人之ヲ納付スヘシ
- 第三條 相續ニ依ル宅地讓渡ニ對スル料金ハ評價額ニ據リ長期貸付ハ各千元ニ付三元短期貸付ハ二元トス
- 支那人借地人ヨリ徵收スル料金ハ支那商務會ノ證明セル評價額ニ據リ外國人借地人ニ對スル評價ハ裁判所ノ決定ニ據ル
- 第四條 讓渡契約締結前ニ地區讓受人及地區讓渡人ハ正確ナル讓渡額ヲ指示シテ地畝管理局ニ申請スヘシ此讓渡額ハ讓渡契約面價額ト一致スヘシ若シ讓受人カ手數料低減ノ目的ヲ以テ實際讓渡價格ヨリ低減セル金額ヲ指示シタル事發見サレタル場合ハ秘匿料金ヲ徵スル外尙秘匿額ノ二倍乃至十倍ノ科料ヲ課スルカ若クハ讓渡登記ヲ無効トス
- 第五條 借地權ノ讓渡申請ニ際シテハ地畝管理局若クハ分局ニ當該借地契約書料金納付ニ關スル總テノ受領證ヲ示シ且ツ讓渡ニ關係スヘキ公證人ヲ示シ其検査ヲ受クヘシ若シ當該契約書カ東支鐵道管理局ニ保管セラレアル場合ハ之ニ代ユルニ公證人ノ證明アル契約書寫ヲ提出スルコトヲ得
- 第六條 地畝管理局若クハ分局ヨリ借地權讓渡ノ許可ヲ受ケタル場合ハ申請者ハ公證人ノ處ニ至リ讓渡ニ關スル公證手續ヲナシ讓受人ノ契約ニ示セル義務遂行條件ニ關スル書類ヲ交換ス
- 第七條 讓渡公證手續完了スレハ公證人ハ書類ヲ地畝管理局ニ提出シ讓渡ノ登記ヲ乞ヒ手續ヲ終了シタル後讓渡證ヲ受ク分局ノ手ヲ經テ讓渡ヲ行ヘル場合ハ公證人ハ總テノ支拂證書ヲ添付シタル書類ヲ當該分局ニ提出ス分局ハ此等ノ書類ヲ地畝管理局ニ移シ其讓渡ノ登記ヲ乞ヒ然ル後讓渡證ヲ受ク
- 讓渡登記及讓渡證ナキトキハ讓渡手續ハ法律上ノ效力ヲ有セス
- 公證人ハ地畝管理局若クハ分局ヨリ讓渡許可ヲ受ケタル日ヨリ起算シテ五日以内ニ公證手續ヲ行フヘシ若ハ公證人カ右期間内ニ手續ヲ了セス且右ノ遲延三週間ニ互ル時ハ同公證人ハ地畝管理局ノ公證權ヲ喪失ス

本規則ハ公布ノ日ヨリ效力ヲ生ス本規則ノ不完全ナルヲ發見シタル時ハ行政長官ノ認可ヲ經テ增補訂正スヘシ

借地料徴收規則

註5

東省特別區地畝管理局借地料徴收規則 (一九二七年一月一日以降實施)

左ノ如ク布告ス

東支鐵道各驛宅地、農耕地ノ短期貸付規則ニ遵ヒ借地料ハ既ニ公布セル如ク各年ノ始ニ制定ス仍ツテ民國十六年以降東支各驛短期貸付土地借地料ハ各驛ノ經濟狀態、村邑ノ狀態並ニ地質ニ依リ決定ス

農耕地ハ本年(民國十六年)以降支那ノ度量衡ニ依ルヘク之ニ對スル借地料ハ各一响ニ對シ從前ノ露國一デシャーチンニ對スル既

定額ヲ徴スヘシ

上記ノ外尚須ク實行ヲ期スルタメ各借地人ニ對シ左記條項ニ依リ宅地ニ對スル借地料ノ増減規則ヲ公布ス

本年以降各地區ハ支那『營造尺』ニ改ム從ツテ尺度ノ基本ハ一平方サージュン四分ノ一ニ相當スル一平方丈ヲ以テス各驛ノ宅地借地料ハ從來一平方サージュンニ對シ年額三十仙ヲ徴セルモノハ之ヲ變更セサルモノ一平方サージュンニ對シ年額三十仙以下ノ借地料ヲ納メ居タル地區ニ對スル借地料ハ之ヲ引上ケ次ノ如ク十級トナス

- 一、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ三仙ヲ納メ居タルモノハ五仙トナシ一平方丈ニ對シテハ十一仙トス
- 二、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ五仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ八仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ十八仙トス
- 三、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ八仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ十仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ二十二仙トス
- 四、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ十仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ十二仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ二十七仙トス
- 五、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ十二仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ十五仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ三十四仙トス

- 六、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ十五仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ十八仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ四十仙トス
 - 七、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ十八仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ二十仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ四十仙トス
 - 八、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ二十仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ二十五仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ五十六仙トス
 - 九、昨年度ニ於テ一平方サージュンニ對シ二十五仙ヲ納メ居タルモノハ之ヲ三十仙ニ引上ケ一平方丈ニ對シテハ六十七仙トス
 - 十、街路角地區ニ對シテハ二十五仙ヲ加フ
- 哈爾濱及ナハロフカノ宅地ニ對スル借用地ハ之ヲ引下ケ三種ニ分チ各平方丈ニ對シ
- 一、一元十二仙、二、七十九仙、三、五十六仙トス
- ナハロフカ以外ノ哈爾濱近傍地區ニ對スル借地料ハ前年度ト同額トスルモ各平方丈ニ對シテ徴收シ例ヘハ昨年度ニ於テ各平方サージュンニ對シ二十五仙ヲ徴シタルモノハ各平方丈ニ對シ五十五仙ヲ徴スヘシ

第四章 東省特別區教育行政

第一節 總 說

東省特別區教育管理局の設置

支那側の教育權回收熱は愈々熾烈なりしが、露奉細目交渉停滯の状態に入るや張煥相は直接行動に訴へても回

收斷行の膽を堅め、一九二六年七月十六日赴奉張作霖に其の旨を傳へ、八月十六日東省特別區教育管理局を新設

し、局長に交渉署外交課長兼市政管理局長李紹庚を任命した。次いで八月二十一日張煥相は東鐵會社に對し「奉露協定第一條の條項に基き、東支鐵道學務課を閉鎖し、同課の事務はすべて教育管理局に移管すべし。尙、之と同時に從來東支鐵道が支出し來れる教育費は今後同管理局の管理に屬すべきものとす。」なる通牒を發した。

尙革命後の東支鐵道管轄學校の教育方針が勞農式のものであり且教職員も其の系統の者なりしに鑑み之が刷新を期し、露人教員の資格を審査するため審査委員會をつくり、總ての教職員は詳細なる履歷書並證明書類を直接教育管理局宛提出すべき様命令した。然るに之に對し東鐵學務課に於ては履歷書は學務課に提出すべき様暗に策動するところあり、於之九月四日李局長は警官を帶同、東鐵學務課に至り強制的に業務を停止し、其の閉鎖を命じたのである。斯くして教育權は支那側の回收するところとなつた。

東鐵學務課の閉鎖

尙、勞農政府は支那北京政府に對し、奉天が單獨にて學務課を閉鎖するは協定に違反する旨抗議せるも何等の解決を見なかつた。

さて、支那側は教育權回收に成功したるも、經費の問題に至りては中々解決するを得なかつたのである。即ち經費支出の實權を握れる東鐵管理局は之が支出を承諾せず「教育權の回收は承認するも、東鐵從業員の爲めに施設せられたる學校に對して支出する經費は支那側教育管理局に委任する能はず」と聲明した。

東鐵管理局の態度右の如くなれば、張長官は十一月十五日教育管理局長の名を以て東鐵管理局に對し豫算面の數字通りの金額の引渡を要求し、若し此の引渡を遅延するに於ては東鐵關係露人學校に如何なる事件起るも支那側の責に非ずとの警告的通牒を發したるも、東鐵管理局長は之に對する何等の回答も與へなかつた。

本問題は尙東鐵理事會の議題にもほりたるが、支那側理事さへも經費支出を強硬に主張し得ざる立場にあり

たれば、到底解決に資する筈もなかつた。

斯くの如く本問題は未解決の中に過ぐること一年三箇月、漸く一九二七年八月、東支鐵道保管金問題の解決を見るや、本問題は急速に進捗を見、東鐵支那側理事郭福綿及露國側代表ゲツケル等により十一月十一日協定案作成せられ、十一月三十日モスクワ政府の同意ありたるにより、十二月一日緊急理事會開催せられ左記協定成立し

協定案成

こゝに圓滿なる解決を告げたのである。

協定本文

第一條 東支鐵道經營ノソウエート國民ニ對スル諸學校ノ管理及教育方法ハ支那ニ於ケル國民教育方法及地方官憲ノ諸命令ニ依リ行ハルヘキモノトス但シ東支鐵道ノソウエート國民ニ對スル諸學校ニ於ケル教育方法トソウエート聯邦ニ於ケル現行教育方法トノ間ニ甚ダシキ懸隔アル場合ニハ一部變更スルコトヲ得

第二條 東支鐵道經營ノ學校維持費ハ左ノ二ニ均分ス

支那側學校費ハ其都度學校費トシテ行政長官公署ニ交付シソウエート國民ノ學校費ハ之ヲ東支鐵道金庫ニ保管シ教育廳長及新設第四科長ノ署名アル要求ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ支出ス

第三條 第四科長ハ東支鐵道管理局長ノ推薦ニ依リ教育廳長之ヲ任命ス第四科長ハソウエート國民ニ對スル諸學校維持費ノ豫算ヲ掌リ是等諸學校ニ關スル總テノ計畫並ニ意見ヲ教育廳長ニ具申ス

第四條 第四科ノ事務員並ニソウエート國民ニ對スル諸學校ノ管理員、教員、技術員ハ總テ東支鐵道管理局長ノ推薦シタル人名簿ニ依リソウエート國民中ヨリ教育廳長之ヲ命ス

第五條 東支鐵道ノ經營スル學校ノ學業監督ノ爲メ支那國民ノ視學ノ外ニ東支鐵道管理局長ノ推薦ニ依リテソウエート國民中ヨリ任命セラレタル視學ヲ置ク

理事會決議

一、東支鐵道理事會ヲ代表スル理事長代郭福綿、副理事長代理ゲツケル竝ニ東省特別區行政長官ノ決議ニ依ル東支鐵道經營學校ニ關スル協定ヲ承認ス

二、東支鐵道學務課及學校ニ關スル協定ニ關シテ理事會ハ左ノ如ク決議ス

第一條 東支鐵道經營學校ニ對スル教育費ハ露支均分シ支出中止ノ當日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 東支鐵道經營學校維持費豫算ニ依ル支出ハ理事會ノ命令ニ依リ鐵道管理局長カ毎月一年豫算ノ十二分ノ一宛爲スモノトス

第三條 東支鐵道經營學校ノ財政ハ鐵道管理局ノ一般方針ニ依リ行フモノトス

第四條 ソウエート國民ニ對スル學校費豫算剩餘ハ東支鐵道之レヲ管理ス

第五條 第四科ノ事務員並ニ東支鐵道經營學校ノ管理員、教員及ヒ技術員ハ鐵道従業員ニシテ鐵道従業員ニ關スル命令ノ示達アル場合總テノ義務ヲ負ヒ權利ヲ得ルモノトス

其ノ解決要點左ノ如クである。

一、東省特別區に於ける教育管理權は支那側に屬し、教育方法は特別の場合を除く外は總て支那の教育法と地方の法令に従ふ事

二、教育廳が露人學校を管理するが爲めに同廳に第四科を新設し、同科長及科員は東鐵管理局長の推薦に依り教育廳長が露人中より任命し、露人教員の任命も亦此方法に依る事

三、教育費は露支均分とし、支那側學校の經費は毎月東鐵が行政長官公署に之を交附し、公署が自由に分配し、露人側學校の經費は東鐵金庫に保管して教育廳長と同廳第四科長の請求に依つて毎月支出する事

四、視學は露支雙方より出す事

第二節 教育行政機關

教育廳

東省特別區教育の中央機關は東省特別區教育廳にして教育事務の全般にわたり之を總監督する。即ち特別區諸學校並に各種教育機關は之れ教育廳の管轄する所である。但し專門學校以上の諸學校は行政長官之を管轄する。

(教育管理局暫行教育管理章程第一條)

教育廳は其の補助機關として視學を置く(第十二條)。視學は廳長の命を受け教育狀況を視察し、教育事項の調査研究に従ふ。(第十一條)

註 視學に付ては第十一條乃至第十四條參照

東省特別區教育廳職員左の如くである。(一九一九年一月現在)

廳長	張國忱
秘書	藩伯明
同	王廣堯
同	薛鏞歷
第一科長	高建國
第二科長	
第三科長	錢家棟
第四科長	

第三節 教育機關

教育機關には、學校、社會教育機關並私塾の三あり。

學校教育(第五條)左記各種學校を設立す。

- 一、小學校
- 二、中學校
- 三、師範學校
- 四、職業學校
- 五、各級女學校

東省特別区内(一九二九年現在)各種學校次の如くである。

名	稱	所在地	備	考
露支工業大學	露支工業大學	哈爾濱	一九二〇年前身たる工業學校創立、一九二二年同校を改造して大學とす。校長劉哲、教授及講師四十五名、一九二六年現在生徒數五四九名(露支共)目下教育廳管理。	
哈爾濱法政學校	哈爾濱法政學校	同上	一九二〇年前身たる高等法政經濟學校創立、一九二二年同校を改造す。院長ウ・ア・リヤサノフスキイ、教授及講師十五名、法政部十七名(經濟學部)生徒數一九二七年一月一日現在六六二名、私立。	
醫科專門學校	同上	同上	院長ウ・デ・マクラクリン 私立	
商業東洋學院	同上	同上	公立、商業研究	
廣益學堂	同上	同上	私立	
師範學校	同上	同上	公立	
東北商船學校	同上	同上	公立	
國民大學校	同上	同上	校長エヌ・ボクロフスキイ	
哈爾濱日露協會學校	同上	同上		

大學專門學校

(ロ) 中等學校

男子商業學校	哈爾濱	區立	
女子商業學校	同上	區立	
第一區立中學校	同上	校長 エヌ・ゲ・コジエヴニコフ	
第一哈爾濱公衆實業學校	同上	猶太人私立	
猶太中學校	同上	同上	
アンデルス第一私立男子中學校	同上	露人私立	
ドリズウリ第一哈爾濱男子中學校	同上	露人私立	
新混合中學校	同上	同上	
第一哈爾濱混合實業學校	同上	同上	
オゾ第二混合實業學校	同上	同上	
ラス露支混合實業中學校	同上	同上	
師範學校附屬中學校	同上	同上	
オクサーコフスカヤ女子中學校	同上	同上	
ゲネローゾワ第一女子中學校	同上	同上	
波蘭私立中學校	同上	波蘭人私立	
メソヂスト教會中學校	同上	米人私立	
基督教青年會附屬混合中學校	同上	校長ニキフオロフ、米人私立	
松江中學校	同上	公立	

後篇 第四章 東省特別區教育行政

ブーシキン馬家溝混合中學校	馬家溝	露人私立
吉林第六中學校	哈爾濱	公立
ブーイユイ中學校	同上	區立、支那人子弟用
シユヤ中學校	同上	同上
布哈圖中學校	布哈圖	私立なれども東支鐵道より多額の補助(主として校舎)を受く
昂々溪中學校	昂々溪	同上
一面坡中學校	一面坡	私立なれども東支鐵道より多額の補助(主として校舎)を受く
橫道河子中學校	橫道河子	同上
ボグラニーチナヤ中學校	ボグラニーチナヤ	同上

(ハ) 高等小學校

哈爾濱第一高等小學校	哈爾濱	區立
哈爾濱第二高等小學校	同上	同上
哈爾濱第一區立中學校附屬 松花江高等小學校	同上	同上
支那高等小學校	同上	同上
ユゴーヰチ第二高等小學校	同上	同上
土耳其雜糧混合小學校	哈爾濱	私立
波蘭高等小學校	同上	同上
縣立模範小學校	傅家甸	同上
滿洲里高等小學校	滿洲里	區立

海拉爾高等小學校	海拉爾	同上
布哈圖高等小學校	布哈圖	同上
昂々溪高等小學校	昂々溪	同上
一面坡高等小學校	一面坡	同上
橫道河子高等小學校	橫道河子	同上
穆稜高等小學校	穆稜	區立
ボグラニーチナヤ高等小學校	ボグラニーチナヤ	同上
札蘭諾爾炭坑高等小學校	札蘭諾爾炭坑	私立(東鐵の補助を受く)
札蘭屯高等小學校	札蘭屯	同上
安達高等小學校	安達	同上
富拉爾吉高等小學校科目講習所	富拉爾吉	同上
石頭河子高等小學校科目講習所	石頭河子	同上
寬城子高等小學校 (實業學校科目を含む)	寬城子	同上

(ニ) 尋常小學校

新市街第一小學校	哈爾濱	區立
新市街第二小學校	同上	同上
新市街第三小學校	同上	同上
機關庫小學校	同上	同上
松花江第一小學校	同上	同上

富拉爾吉	札蘭屯	布哈圖	興安嶺	海拉爾	札蘭諾爾	滿洲里	濱江縣立尋常小學校	日本	莫斯科カザルマ	中央機械工場	哈爾濱機關庫	コルプス	チンヘ	ゴンドッチ	莫斯科カザルマ	露支孤兒院	舊哈爾濱	松花江
小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	三十五校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	第二小學校
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

縣立、教員人員二〇〇名生徒人員約二、〇〇〇名

昂々溪	安達	阿什河	一面坡	石頭河	橫道河子	愛河	穆稜	雙城堡	密門	寬城子	赫爾洪	完工	札拉木	伊勒克	巴林	虎爾拉	烟筒屯	小河子	帽兒山
小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校	小學校
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

私立(東鐵より補助を受く主として校舎を貸與せらる)

鳥吉密小學校	ルカシエゾオ小學校	葦沙河小學校	ヤプロニヤ小學校	海林小學校	牡丹江小學校	磨刀石小學校	帶馬溝小學校	馬橋河小學校	細鱗河小學校	小紱芬小學校	滿洲里小學校	札賴諾爾炭坑小學校	海林小學校	布哈圖小學校	札蘭屯小學校	昂々溪小學校	安達小學校	一面坡小學校	橫道河子小學校
鳥吉密	ルカシエゾオ	葦沙河	ヤプロニヤ	海林	牡丹江	磨刀石	帶馬溝	馬橋河	細鱗河	小紱芬	滿洲里	札賴諾爾炭坑	海林	布哈圖	札蘭屯	昂々溪	安達	一面坡	橫道河子
私立	同	同	同	同	同	同	同	同	私立	同	區立、支那人用	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

(木) 特殊學校

穆稜小學校	ボグラニイチナヤ小學校	密門小學校	寬城子小學校	工藝學校	中央工場附屬技術講習會	齒科醫學校	齒科技術講習會	產婆講習會	簿記講習會	イリインスキー簿記夜學校	メソヂスト教會簿記打字速記講習會	市立音樂學校	私立音樂學校	ロトス美術學校	第一區立中學校附屬哈爾濱技術學校	職業技術講習會	成年夜間中學校
穆稜	ボグラニイチナヤ	密門	寬城子	工藝	中央工場附屬技術講習會	齒科醫學	齒科技術講習會	產婆講習會	簿記講習會	イリインスキー簿記夜學校	メソヂスト教會簿記打字速記講習會	市立音樂	私立音樂	ロトス美術	第一區立中學校附屬哈爾濱技術學校	職業技術講習會	成年夜間中學校
區立	同	同	同	同	同	私立	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上

工 藝 學 校 一 哈 爾 濱 區 立

備考 右表は東鐵經濟調査局編「北滿及東支鐵道要覽、エヌ・エム・ドプロホートフ編「一九二六—二七年商業案内」、露亞時報昭和四年一月號に依る。

註

(一九二九年一月現在)

東省特別區法政大學校	副校長	雷 股
東省特別區工業大學校	校長	劉 哲
哈爾濱醫學專門學校	校長	伍 連 德
東省特別區第一中學校		方 永 蒸
東省特別區第二中學校	校長	張 孝 友
東省特別區第三中學校	校長	劉 宗 漢
東省特別區警察高等學校	校長	張 景 惠
東北商船學校		

校長 王 時 澤

社會教育

社會教育

一般大衆の智能啓發の爲、次の諸設備がある。

- 一、通俗圖書館
- 二、平民學校
- 三、補習學校
- 四、通俗教育研究會
- 五、通俗教育講習所

私塾

私 塾

學齡不足、生計困難、或は一時學校設立不能地方居住の者に限り設置せられる。

次に、各學校に諮問機關として理事會が置かれる。理事會に就きては、「東省特別區教育管理局管下學校理事會規則」の詳細なる規定がある註。

教育費

教育費

特別區教育費は左記項目より成る。

- 一、從來教育費として支出され來れる金額並此目的に充てられ居る公金、不動産
- 二、寄附金
- 三、授業料
- 四、教育事業の爲め募集する金員

註¹ 教育費の詳細は自治制の項參照

註² 東省特別區教育管理局暫行教育管理章程

第一章 總 則

第一節 管 轄

後篇 第四章 東省特別區教育行政

東省特別區教育管理局暫行教育管理章程

後篇 第四章 東省特別區教育行政

第一條 東省特別區内區立、公立及私立ノ各學校ハ專門學校以上ノ學校ハ直接行政長官公署、其ノ他ハ總テ教育管理局之ヲ管轄スルモノトス

第二條 東省特別區所屬ノ社會教育機關ハ總テ教育管理局之ヲ管轄ス

第二節 名稱

第三條 特別區學校ヲ左ノ三種ニ分テ設立ノ順序ニ依リ東省特別區第何區區立第何學校ト稱シ專門學校ハ其性質ニ依リ特殊ノ文字ヲ冠スルコトヲ得(農業、工業、商業等ノ如シ)女學校ノ場合ハ女子ノ文字ヲ冠ス

一、區立、地方ノ公費ニテ設立セラル、學校ハ之ニ屬ス

二、公立、國家ノ各機關、公共團體或ハ兩國合資營業公司ノ出資ニ依リ設立セラルル學校ハ之ニ屬ス(農工商會及鐵道局等)

三、私立、個人又ハ私人團體出資ニテ設立セラルル學校ハ之ニ屬ス

私立學校ニシテ地方ノ公費或ハ公法人ノ補助ヲ受ケ其補助力全經費ノ三分ノ二以上ヲ占ムルモノハ公立ニ屬シ補助ヲ受クルモノト雖モ私費全經費ノ三分ノ二ヲ占ムル場合ハ私立ニ屬ス

第三節 學區

第四條 本教育管理局ノ管轄スル學校ヲ區分シテ左記三學區トナス

一、第一學區 哈爾濱市及哈爾濱ヨリ長春ニ至ル間

二、第二學區 哈爾濱ヨリ滿洲里ニ至ル間

三、第三學區 哈爾濱ヨリ綏芬河ニ至ル間

第二章 學校教育

第五條 學校教育ハ道德教育ニ注意シ輔スルニ國家教育ヲ以テシ更ニ實利教育、美感教育ニ及ホシ之ヲ完成スヘシ當分左記學校ヲ設ク

一、小學校

二、中學校

三、師範學校

四、職業學校

五、各級女子學校

第六條 學校教育規程ハ別ニ之ヲ定ム

第三章 社會教育

第七條 社會教育ハ一般諸氏ノ性情、道德及智能 陶冶シ以テ學校教育ノ不足ヲ補フ當分左記各項ヲ設ク

一、通俗圖書館(新聞閱覽所ヲ附設ス)

二、平民學校

三、補習學校

四、通俗教育研究所

五、通俗教育講習所

第八條 社會教育規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 私塾

第九條 特別區内ニ於テ學齡不足、生計困難又ハ一時學校設立不能ノ地方ニ限リ當分私塾ヲ設クルコトヲ得教授ノ改良ヲ俟チ機ヲ見テ漸次代用學校或ハ正式學校ニ改善シ以テ教育ノ發展ヲ圖ル

第十條 私塾取締辦法ハ別ニ之ヲ定ム

第五章 視察

第十一條 教育管理局視學員ハ教育管理局ノ命令ニヨリ特別區内ノ教育行政並各學校ノ教育狀況ヲ視察ス

第十二條 視學員ハ各學區教育行政ヲ視察セル場合ニハ左記各項ヲ報告スヘシ

後篇 第四章 東省特別區教育行政

- 一、各學區教職員ノ成績、賞罰ヲ受クヘキ事項ノ有無
- 二、各學校長ノ成績、賞罰ヲ受クヘキ事項ノ有無
- 三、教育經費ノ徵集、分配及收支保管等改良スヘキ事項ノ有無
- 四、各所社會教育ノ状況及振興ヲ補フヘキ事項

第十三條 視學員ハ各學校ノ教育狀況ヲ視察シ左記各項ヲ教育管理局ニ報告スヘシ

- 一、學校所在地及其種類並名稱
- 二、學校ノ建設及其沿革
- 三、學校ノ設備及組織ノ現状
- 四、學校ノ管理、訓育及教授ノ現状
- 五、學校ノ經濟及衛生狀態
- 六、教職員資格程度ノ優劣、執務ノ勤惰及進退折衝スヘキ事項ノ有無
- 七、校內教育規程及現在級數、毎年ノ卒業生徒數並一切辦法ニ就キ改良スヘキ事項ノ有無

第十四條 視學員ノ教育視察規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 特別區內小學校教職員ニシテ檢定ヲ必要トスル者ハ教育管理局經由行政長官公署ニ資格審査ノ申請ヲ爲シ教職員許可狀ヲ交付シ教員タラシム但シ外國籍ノ教職員ニシテ支露中學、小學教員任用ハ檢定委員會ノ檢定ニヨリ之ヲ定ムヘシ

第十六條 檢定委員會ノ規程ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 教職員ノ任免

第十七條 各學區區立小學校長ハ教育管理局之ヲ任命シ私立中小學校長ハ各當該校校董會ニテ推薦シ教育管理局長ニ審議任命ヲ申請シ行政長官公署ニ上申スヘシ

區立中學校長ニ就テハ教育管理局ハ慎重選擇シ行政長官公署ニ任用申請ヲナスヘシ

第十八條 特別區內各學校教職員ニシテ法令ニ違反シ又ハ不名譽ノ行爲ヲナシ或ハ職務怠廢ノトキハ教育管理局ハ第二十一條ニヨリ夫々懲戒シ行政長官公署ニ上申ヘシ

第十九條 左記事項ノ一ニ該當スル者ハ學校教職員ニ就任スルコトヲ得ス

- 一、刑事處分ヲ受ケ公權ヲ褫奪セラレ未タ復權セサル者
- 二、曾テ破産處分ノ宣言ヲ受ケ未タ復權セサル者
- 三、禁治産或ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタル者
- 四、曾テ懲戒免職トナリ未タ二箇年ヲ經過セサル者
- 五、性行不良ナル者

第八章 賞 罰

第二十條 各學區從事員並各學校教職員ニシテ執務ニ熱心、成績卓越ノ者アルトキハ視學ノ報告ニ基キ事情ヲ取調ヘ教育管理局ハ之ヲ行政長官公署ニ上申スヘシ

- 一、語言獎勵
 - 二、功績記錄
 - 三、褒狀配給
 - 四、褒章配給
- 第二十一條 各學區從事員各學校教職員ニシテ職務ニ違背シ怠慢ノ者アルトキハ視學ノ報告ニ基キ調査ヲナシ教育管理局ハ之ヲ行政長官公署ニ上申シ長官公署ハ左ノ處罰ヲナス
- 一、譴責

二、處罰

三、休職

四、解職

第九章 學校ノ設立、改良及閉鎖

第二十二條 東省特別區内ニ於ケル公私立學校ノ開設、改良及閉鎖ニ關シテハ教育管理局長ノ許可ヲ要シ同局ヨリ行政長官公署ニ上申ス

第二十三條 公立若ハ私立學校ヲ區立ニ改メントスル時ハ教育管理局經由行政長官公署ノ許可ヲ要ス

第二十四條 區立、公立、私立學校ハ左記事項ニ關シ教育管理局ニ報告シ同局ヨリ之ヲ行政長官公署ニ上申ス

一、校名

二、所在地

三、設立年月

四、校則

五、生徒數

六、使用中ノ教科書、參考書、地圖

七、授業料

八、豫算、資金ノ出所

九、創立者ノ氏名、職業

十、校長、教員、從業員ノ氏名及經歷

此外尙公私立校ハ創立者、校長、教員ノ國籍ヲモ報告スヘシ

第二十五條 宣教師カ學校ヲ開設セントスル時ハ申請書ニ『私立』ノ名稱ヲ用フヘシ教授科目、時間割ハ現行規定ニ基キ記載スルヲ

要ス

第二十六條 特別區内學校ニシテ左記ノ一ニ該當スルモノハ教育管理局之ヲ閉鎖ス

一、法規ニ違背スルモノ

二、安寧秩序、善良ナル風俗ヲ紊亂スル虞アルモノ

三、閉校六ヶ月以上ニ及フモノ

四、監督ノ權ヲ有スル機關及人ノ指圖命令ニ違反スルモノ

第十章 資 金

第二十七條 東省特別區教育費ハ左記項目ヨリ成ル

一、從來教育費トシテ支出サレ來レル金額並ニ此目的ニ充テラレ居ルスヘテノ公金、財産(不動産)

二、特別區教育費補充ノタメ募集スル寄附金

三、授業料

四、社會的並個人的機關カ教育事業ノタメニ徵集スル各種ノ金員

五、個人の寄附

第二十八條 區立、公立及私立ノ學校ニ支出スヘキ同校豫算ノ三分ノ二若ハソレ以上ノ公金ハ當該機關之ヲ教育管理局ニ引渡シ同局ハ適宜之ヲ分配ス

第二十九條 公金ノ支出ヲ受ケサル私立學校、個人ヨリ其豫算額ノ三分ノ二ヲ受タル學校ハ孰レモ教育管理局ノ監督ノ下ニ之ヲ支出スルモノトス

第三十條 區立學校ノ支出豫算ハ左記各項ヨリ成ル

一、學校ノ設備並維持費

二、教員ノ俸給並其他ノ人件費

三、其他ノ學校維持費

第三十一條 區立學校ノ豫算案ハ所定期間内ニ之ヲ教育管理局長作成シ長官公署ニ提出シテ其承認ヲ經ヘシ
第三十二條 公立及私立學校ノ豫算案及決算ハ所定期間内ニ之ヲ教育管理局ニ提出シ同局ハ之レカ審査ヲ經タル上行政長官公署ニ上申ス

第三十三條 區立、公立及私立學校ハ毎月其所管金額支出ニ關スル決算書ヲ教育管理局ニ提出スヘシ
教育管理局ハ決算書審査ノ上之ヲ行政長官公署ニ上申ス

第十一章 休暇、休日

第三十四條 學期ハ左ノ二期トス

第一學期 八月一日ヨリ翌年一月三十一日迄

第二學期 二月一日ヨリ七月三十一日迄

第三十五條 夏期休暇ハ七月二十日ヨリ八月十日迄ノ三十日トス

冬休ハ一月十日ヨリ二月二十日迄ノ四十日トス

休日ハ左ノ如シ

一月一日、春祭、夏祭、秋祭、冬祭、植樹祭、國慶記念日、孔子祭、地方的祭日、學校記念日及日曜日
尙夏期休暇冬期休暇ノ實施期ハ地方ノ氣溫ニ應ジテ教育管理局之ヲ制限シ得ルモ長官公署ノ許可ヲ要ス

第三十六條 本章程ニ規定ナキ事項ハ一般ノ教育法ニ依ル

第三十七條 本章程ハ長官公署ノ承認ヲ經テ公布ノ日ヨリ有效トス

第三十八條 本章程ノ追加變更ヲナストキハ當該官憲ノ許可ヲ要ス

東省特別區教育管理局管下學校理事會規則
註3 東省特別區教育管理局管下學校理事會規則

理局管下
學校理事
會規則

第一條 公立及私立ノ各學校ハ理事會ヲ設置スルヲ要ス

第二條 理事會ハ當該教育機關設立ノ趣旨ヲ確立シ且將來ノ發展ヲ圖ルヲ以テ其ノ目的トス

第三條 理事會ノ職務左ノ如シ

一、經費ノ調達

二、學校建物ノ建造並保全

三、學校ノ事業方針ニ關スル提案

四、學務ノ發展ヲ來スベキ凡有ル方策ニ對スル援助

五、校長ノ提案セル問題ノ審議

六、校長ノ選舉及之ヲ承認ヲ教育管理局ニ申請スルコト

第四條 理事ハ左記ノ者ヨリ之ヲ選任ス

一、學校ノタメニ盡力セル者

二、特ニ學校ニ物質的援助ヲナセル者

三、學校長(現任)

第五條 理事會ハ理事長一名及ビ理事數名ヨリ成リ理事ノ選舉ハ無記名投票ニヨル當選者名簿ハ教育管理局長ノ認可ヲ經タル後之ヲ長官公署ニ提出ス

第六條 理事長及理事ハ無報酬トス

第七條 理事長及理事カ事情ニ依リ辭職ノ已ムナキニ至リタル場合ハ新任者ノ選舉ハ第五條ノ規定ニ依ル

第八條 定例理事會ハ年一回學年ノ初期ニ開催ス緊急會議ハ理事半數以上ノ申出ニヨリ理事長之ヲ召集ス理事長事情ニヨリ會議ニ出席シ能ハサル時ハ出席理事ハ臨時理事長ヲ互選ス

第九條 定例緊急理事會ノ出席理事法定數ハ理事全體ノ半數トス

- 第十條 議決ハ總テ多數決ニ依ル贊否同數ナル時ハ理事長ノ贊否ヲ以テ決ス
- 第十一條 理事長若クハ理事教育管理局ノ規則ニ違反シタル場合ハ同管理局ハ右違反者ヲ解職シ或ハ理事會ヲ解散ス
- 第十二條 理事會ヲ組織セントスル時或ハ理事ノ交送ヲナス場合ニ於ケル新選舉並ニ其認可ハ第五條規定ニ依ル
- 第十三條 理事會議事録ハ教育管理局之ヲ行政長官公署ニ提示ス
- 第十四條 定例若ハ其他ノ會議ヲ開催セントスル場合ハ豫メ特別區教育管理局ノ許可ヲ受ケ教育管理局ハ代表ヲ派遣シテ會議ニ參加セシム
- 第十五條 理事會ハ特別區教育管理局ヨリ印章ヲ受ケ
- 第十六條 本規定ハ本省特別區内ノ公立、私立ノ學校ニ適用ス
- 第十七條 本規定ハ公布ノ日ヨリ實施ス

註⁴

東省特別區教育管理局補習學校暫行章程

- 第一條 補習學校ハ第一階梯ノ學校ヲ卒業セサル兒童並ニ全然教育ヲ受ケス筋肉勞働ニ直接間接ノ關係ヲ有スル下級職業ニ従事スル年長者ニ對シテ勞力ニ知識ヲ適用セシムルタメ生活ニ必要ナル知識並職業的訓練ヲ授クルヲ以テ其ノ目的トス
- 第二條 補習學校ハ之ヲ專門學校並普通學校ノ二ニ分ツ
- 第三條 專門學校ハ其教授スル專門科目ニ從ヒ名稱ヲ附ス(例ハ農業、手工、商業專門學校等ノ如シ)女子ノタメノ學校ニハ女子……學校ノ名稱ヲ附ス
- 補習學校ハ生活ニ必要ナル一般知識ヲ授ケ第一階梯學校ヲ卒業セサル者學校教育ヲ受ケサル年長者ニ下級事務員ノ職並ニ各種筋肉勞働ヲ發見スルニ容易ナル基礎ヲ與フルモノトス
- 第四條 補習學校設立手續ハ一般學校ニ同シ
- 第五條 補習學校ニ於ケル授業ハ各種職業ノ休息時間ニ行フモノトス

東省特別區教育管理局補習學校暫行章程

- 第六條 補習學校ノ時間割ハ各其專門科目ニ依リ異ナルモ讀方及算術ニハ特ニ注意ス(ヘシ)
- 第七條 補習學校ノ教授時間ハ一日少クトモ一時間ヲ下ルヘカラス
- 第八條 補習學校ハ授業料ヲ徴收セス
- 第九條 補習學校ノ教授科目ニハ次ノ諸項ヲ包含セシムルコトヲ得
音樂、唱歌、幻燈、活動寫眞、平民講座、修學旅行、藝術品ノ參觀並其他ノ知識的慰安
- 第十條 補習學校教員ノ報酬ハ一般學校教員ノ報酬ヨリモ少額トスルカ若ハ後者ニ對スル手當トシテ支給ス
- 第十一條 本規則ノ増補ハ必要ニ應ジ又申請ニ應ジ行フモノトス
- 第十二條 本規則ハ認可ノ公布ノ日ヨリ有效トス

第五章 東省特別區警察

第一節 總 說

東鐵沿線の不安
一九一七年の露國革命は延びて東鐵沿線各地にも極度の不安を招來し、同年末頃の治安の紊亂は殆んど同沿線に無警察状態を現出せしめたのであつた。

註 右沿線治安の紊亂は

(一)軍隊の風紀紊亂並(二)鐵道守備隊の露本國への引揚による。
軍隊内に於ては、革命により下士卒の權利擴張せられて兵營内の不規則其の極に達し、又鐵道守備隊は露本國に於て憲兵及巡查が解職或は逮捕せられし爲め、一九一七年六月哈爾濱方面にて召集中の新兵と合してイルクーツクの補充部隊に編入せらるることとなりて撤退しこゝに沿線の秩序は紊亂したのである。

哈爾濱に於ても物情騒然として掠奪等公然と行はれ其の被害は外國人に迄も及び、同年十一月二十六日の如き露兵八名より成る暴徒の我三井物産會社出張所の襲撃事件等あり、英、米人の被害も相當數に達した。斯かる事態に對し東鐵側は只管自己の安泰を圖るに急にして何等施すべき手段を有せず、民政部警察員も無力にして傍觀的態度を採るのみであつた。

狀勢右の如くなれば各地に自衛團の組織を見、これによりて辛うじて各自の安全を圖つたのである。

註 自衛團は各地に組織せられたるが、安達支那商務會の商團警備隊、哈爾濱に於ける露人自衛團等最も完備せるものであつた。

領事團の態度

事態右の如く險惡なる爲、在哈爾濱領事團はホルワツト鐵道長官に對し外國人の生命財産の保護手段を講ずる事を要求するに至つた。即ち一九一七年十一月二十日、米國領事先づ右の要求を鐵道長官に提出し、更に十一月二十二日在哈領事團は若し安寧秩序の維持困難なる場合に於ては在留外人保護に必要な丈の警察隊若くは軍隊の出動を各本國政府に請求すべき旨通告するところあつた。

右に對しホルワツト長官は、責任を以て警察の改善を圖り治安を維持すべきに依り、國際警察をして之れに當らしむる事は取止められ度き旨回答した。然るに其後に於ても何等改善の跡見えず、依然不安の狀態繼續せるため十一月二十八日、領事團主席佐藤日本總領事は左記覺書をホルワツト鐵道長官に提出した。

覺書

覺書

在哈爾濱領事團ハ哈爾濱市並東支鐵道附屬地ニ於ケル一般ノ安寧保持ニ關シ十月二十六日口頭ヲ以テナシタル聲明ヲ確認シ且ホルワツト將軍閣下ノ與ヘラレタル口頭説明ヲ諒承シ本説明ガ速ニ書面ヲ以テ確認セラルヘキコトヲ期待シ直ニ左記手段ヲ實行スルノ必要ヲ認ムルノ光榮ヲ有ス

- 一、哈爾濱市内商業及住宅區域ノ主要道路ニ於ケル監視ヲ實行シ日没ヨリ日出ニ至ル迄ホルワツト將軍閣下ノ直屬ノ鐵道所屬ノ兵ヨリ成ル巡邏兵ヲシテ巡邏セシムルコト
 - 二、普通人、軍人ノ別ナク夜間街上ヲ徘徊シ其ノ行動疑ハシト認ムル者ハ毎日之ヲ逮捕シ刑期未了（遁走者若クハ特赦ヲ受ケタルモノ）ノ犯人及普通人軍人ノ浮浪者犯人ヲ拘禁退去處罰スルコト
 - 三、相當ノ權限ヲ有スル將校監督ノ下ニ特別ノ警察ヲ停車場ニ置クコト
 - 四、停車場並列車中ニ於ケル外國人旅客ノ手荷物ノ検査並捜査ヲ廢止スルコト但シ旅客ガ嫌疑ヲ招キタル場合ニ於テ關係領事ニ通知シ其ノ同意ヲ得タル場合ハ此ノ限りニアラス
 - 五、關係領事ノ請求アリタル場合ニ於テ危險ニ頻セル外國人ノ私益保護ノ爲メ特別衛兵ヲ出スコト
 - 六、警察ニ與ヘタル命令並各種ノ處置ヲ新聞紙上ニ公告スルコト
 - 七、領事團ヨリ容認ヲ要求シタル各條約並ホルワツト將軍ノ間ニ成立シタル協定ヲ「ハルピンスキー、ウエストニツク」紙（東支機關紙）ニ公告スルコト
- 前記七項ノ手段ヲ容レ直チニ之ヲ實行スルコトヲ應諾セラルルニ於テハ警察改善ノ爲ホルワツト將軍ノ申出ニ係ル二週日ノ猶豫ヲ領事團ニ於テ承認スヘシ若シ前記期間内ニ附屬地内在留外國人ノ生命財産ノ保護ニシテ保障セラレス且完全ナル秩序回復セラレサルニ於テハ在哈爾濱領事團ハ何等ノ豫告ヲ與フル事ナクシテ既ニ前顯要求事項原文ノ電報ニ接シ居レル各本國政府ノ干涉ヲ請求スヘシ

一九一七年十一月二十八日

陳者本官ハ在哈爾濱領事團ノ委任ニ基キ鐵道附屬地内ニ於ケル在留民ノ安寧ニ關シ領事團員一致ヲ以テ作製シ

タル別紙覺書ヲ閣下ニ提出スルノ光榮ヲ有シ候
本官ハ閣下ニ於テ其ノ應諾ヲ表明セル通知ヲ與ヘラル、ニ於テハ感謝措ク能ハサルモノニ有之候

在哈爾濱日本總領事

領事團首席領事 佐藤 尙 武

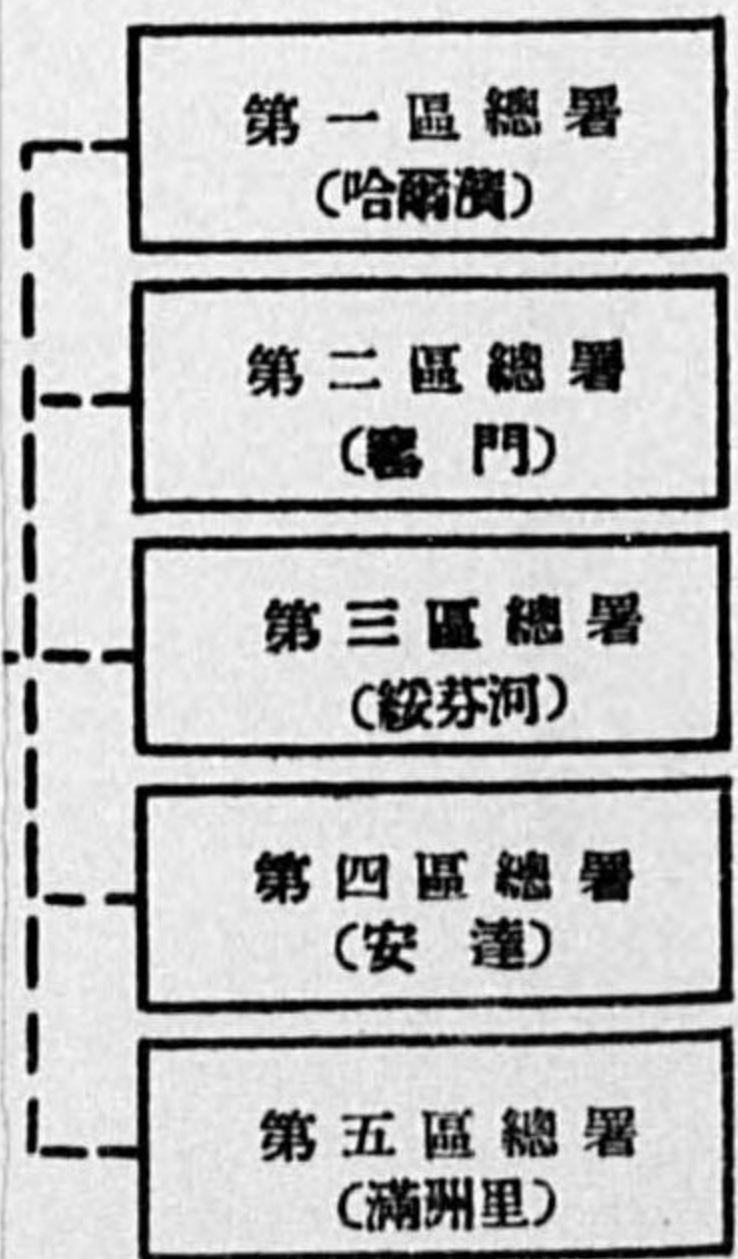
ホルワツト支那側
に對して警備
を以て當らしむ

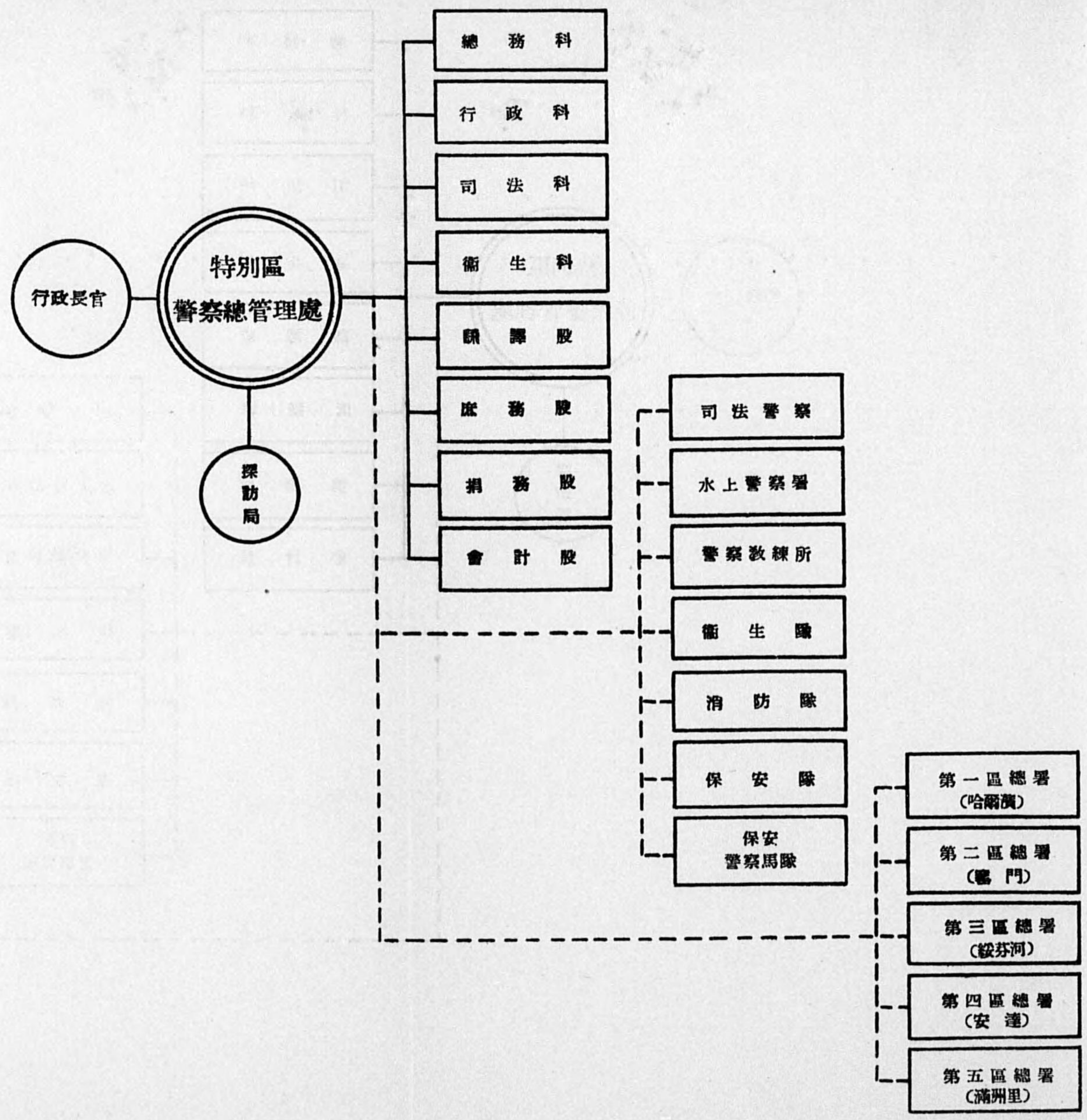
斯くて、右覺書の要求事項に應ずべき期限の二週日たる十二月十日以前に何等かの處置を執らんと欲し、東支
鐵道民政部評議會は十二月一日會議を開催したるも、鐵道側と勞兵會側との意見の一致を見ず、萬策盡きたるホ
ルワツト長官は一には勞兵會の横暴を制し、一には各國の國際警察等の積極的干渉を避けんが爲め、こゝに支那
兵を以て警備に當らしめんとするの策に出でたのである。

於之、過激派掃蕩の爲ホルワツト長官と握手し居りたる支那側は警察權回收の好機近づけりとなし、直ちに兵
を以て附屬地の警備に當り、同時に派遣軍司令官陶祥貴は左の布告をなした。

東支鐵道會社ハ露支兩國ノ特別協約ニヨリ支那ノ委任ニ基キ附屬地ノ行政ヲ管理シ鐵道ノ經營ヲナン來レリ然
ルニ哈爾濱ニ東支鐵道會社ノ事業ニ干渉シ或ハ其ノ權利ヲ侵害センコトヲ圖ル或機關出現シ來リ不法ニモ東支
鐵道沿線ノ最高權ヲ自己ノ掌中ニ奪取セントスルハ是レ明カニ露支條約及支那共和國ノ主權ヲ侵害スルモノナ
リ

是ニ於テ支那共和國政府ハ如スキ策ヲ防止スヘキ適當ノ方法及支那領土ニ居住スル支那國民ト外國人トヲ保護
シ且東支鐵道沿線秩序ヲ維持スルノ方法ヲ採ラサルヲ得ス此ノ目的ヲ遂行スル爲ハ爾濱市街ニ支那軍隊ヲ入レ
各地區ニ配置ス(後略)





本官ハ閣下ニ於テ其ノ應諾ヲ表明セル通知ヲ與ヘラル、ニ於テハ感謝措ク能ハサルモノニ有之候
 在哈爾濱日本總領事
 領事團首席領事 佐藤 尚武

ホルワツト支那側
 ト支那側
 備にして警
 しむに當ら

斯くて、右覺書の要求事項に應ずべき期限の二週日たる十二月十日以前に何等かの處置を執らんと欲し、東支
 鐵道民政部評議會は十二月一日會議を開催したるも、鐵道側と勞兵會側との意見の一致を見ず、萬策盡きたるホ
 ルワツト長官は一には勞兵會の横暴を制し、一には各國の國際警察等の積極的干渉を避けんが爲め、こゝに支那
 兵を以て警備に當らしめんとするの策に出でたのである。
 於之、過激派掃蕩の爲ホルワツト長官と握手し居りたる支那側は警察權回收の好機近づけりとなし、直ちに兵
 を以て附屬地の警備に當り、同時に派遣軍司令官陶祥貴は左の布告をなした。
 東支鐵道會社ハ露支兩國ノ特別協約ニヨリ支那ノ委任ニ基キ附屬地ノ行政ヲ管理シ鐵道ノ經營ヲナシ來レリ然
 ルニ哈爾濱ニ東支鐵道會社ノ事業ニ干渉シ或ハ其ノ權利ヲ侵害センコトヲ圖ル或機關出現シ來リ不法ニモ東支
 鐵道沿線ノ最高權ヲ自己ノ掌中ニ奪取セントスルハ是レ明カニ露支條約及支那共和國ノ主權ヲ侵害スルモノナ
 リ
 是ニ於テ支那共和國政府ハ如キ策ヲ防止スヘキ適當ノ方法及支那領土ニ居住スル支那國民ト外國人トヲ保護
 シ且東支鐵道沿線秩序ヲ維持スルノ方法ヲ探ラサルヲ得ス此ノ目的ヲ遂行スル爲ハ爾濱市街ニ支那軍隊ヲ入レ
 各地區ニ配置ス(後略)

臨時警察
局の設置

右の如くにして支那軍隊は附屬地の警備に當り其の秩序も次第に恢復した。
更に支那は警察權の具體的回收の第一歩として、一九一八年三月六日臨時警察局を設置し、露國側警察署と區
を分ちて警備に任することゝなつた。

當時の支那側警察員の配備は(註)

東部線	綏芬河、穆稜、海林、橫道河子、一面坡の五區	警察員總數	一〇〇名
西部線	滿洲里、海拉爾、札蘭屯、昂々溪、安達の五區	警察員總數	一三〇名
南部線	双城壁、陶賴昭、密門の三區	警察員總數	八〇名
哈爾濱	四區に分つ	各區警察員	二〇〇名

然るに一九二〇年三月東支鐵道にホルワツト長官排斥の大罷業勃發し、ホルワツト長官の部下赤軍に投ずるや
鮑貴卿督辦は機乗すべしとなし、三月十六日露國側警察機關を占領し露國警察官の武装を解除し、十八日ホルワ
ツト長官は鐵道附屬地に於ける警察權を支那に讓るに至つたのである。

東省特別
區警察總
管理處の
設置

斯くて支那側は一九二〇年十二月十日附東省特別區警察編制大綱註、十二月九日附東省特別區警察總管理處組
織章程註を公布し、従前の臨時警察局を廢止して東省特別區警察總管理處を新設し、哈爾濱並東支全線を五區に
分ち其の管掌下に置いた。

第一區、哈爾濱 第二區、哈爾濱、長春間 第三區、哈爾濱、綏芬河間 第四區、哈爾濱、免渡河間
第五區、免渡河、滿洲里間

第二節 警察機關

東省特別區警察制度は「東省特別區警察編制大綱」、「東省特別區警察總管理處組織章程」に依つて規律せられる。

東省特別區警察總管理處

東省特別區警察行政の中央機關は東省特別區警察總管理處である。管理處長は内務總長より大總統に申請して任命せられ（編制大綱第四條）、東省特別區内警察行政事項を管理し所屬職員を指揮監督する（組織章程第一條）。

處長の補助機關として副處長二名を置く事を得る（第四條）、總管理處は四科を分設する（第五條）即ち總務科、行政科、司法科、衛生科之である。

總管理處は處長の補助機關として、秘書、科長、督察長等を置く（第六條）。

東省特別區を五區に分ち（前款參照）、地方警察官廳として警察署を各區に設置する（第七條）尙警察署の下に分署並駐在所を置く。警察に署長一名、分署、駐在所に分署長一名、駐在所長一名を置く。各警察署は左記各員を設くる（第八條）

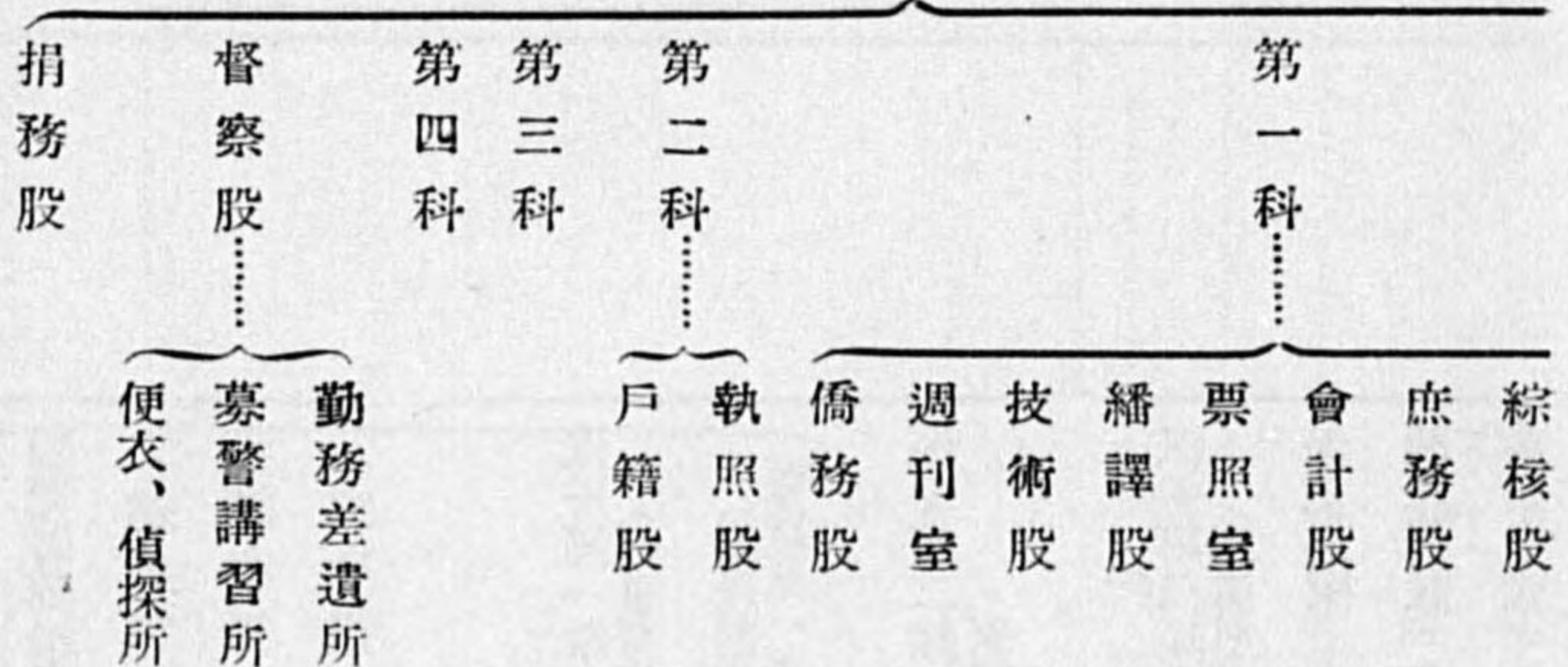
署長 一名 署員四名以下 翻譯員 一名乃至二名

尙ほ東省特別警察總管理處所轄各機關を圖示すれば次の如くである。（一九二九年一月現在）

秘書處

收發股
書繕股

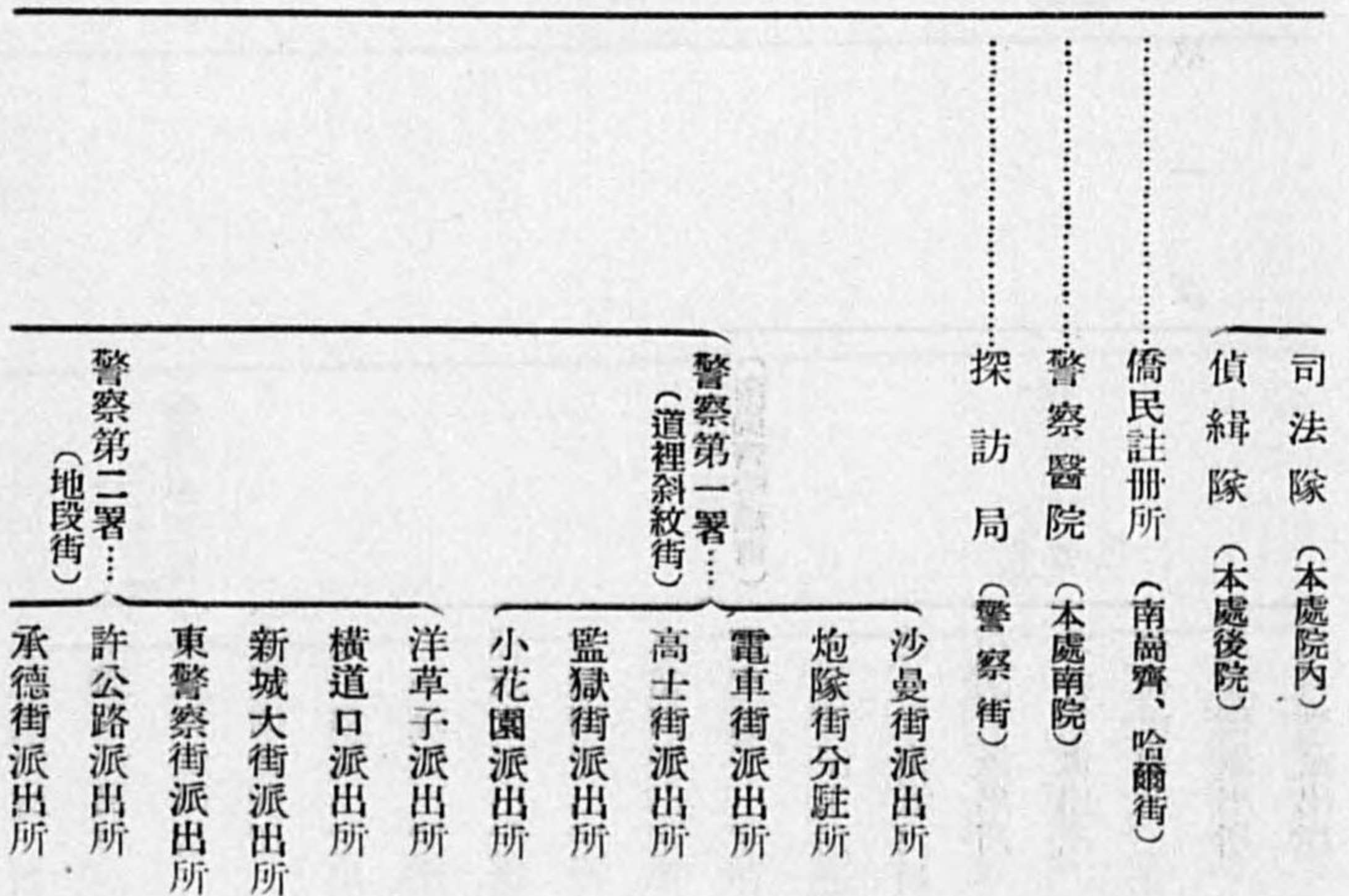
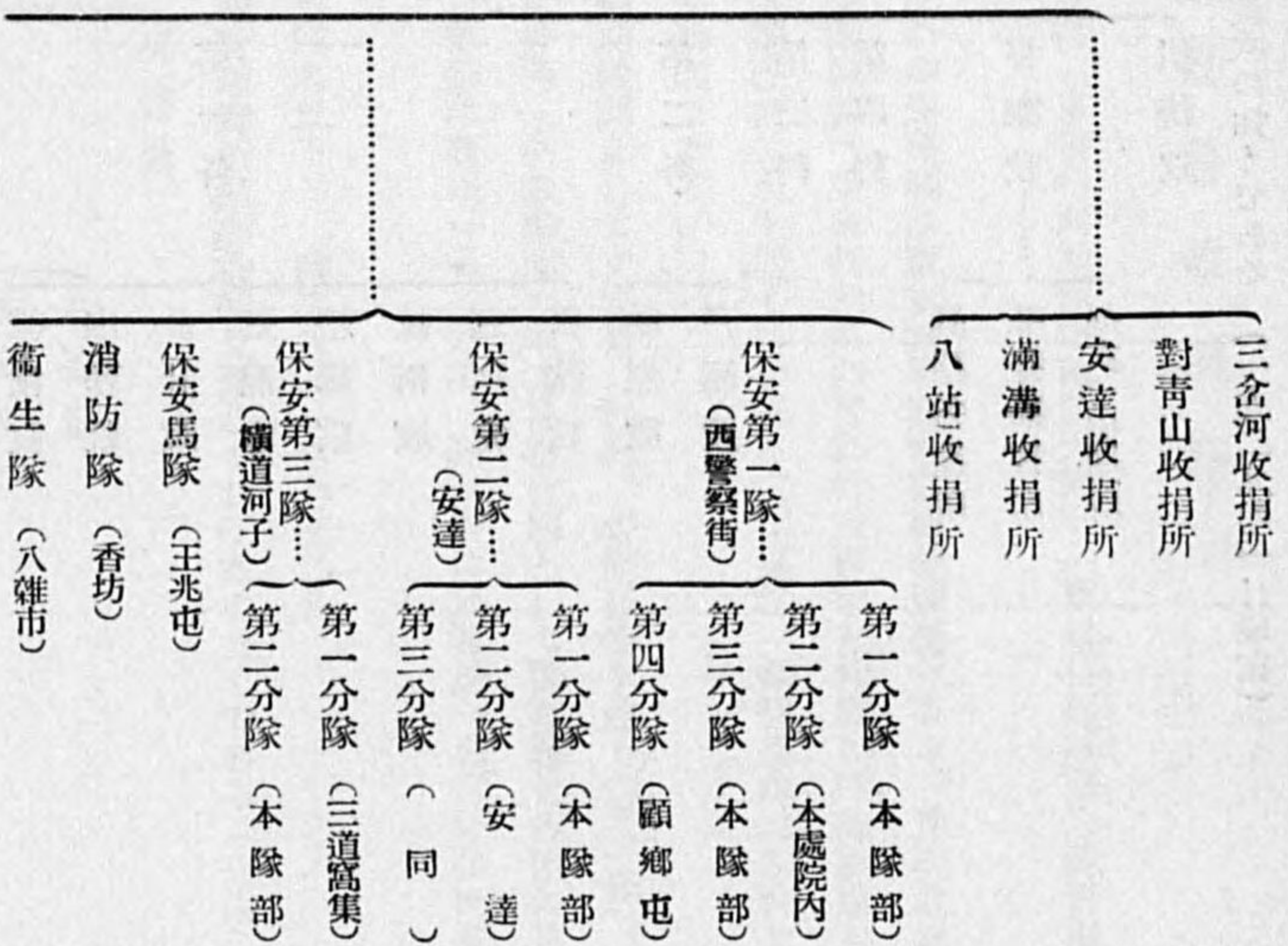
東省特別區警察總管理處內部統系表



東省特別區警察系統

東省特別區警察系統次の如くである。（一九二九年一月現在）

後編 第五章 東省特別區警察



第一區

警察第三署
(南崗齊哈爾街)

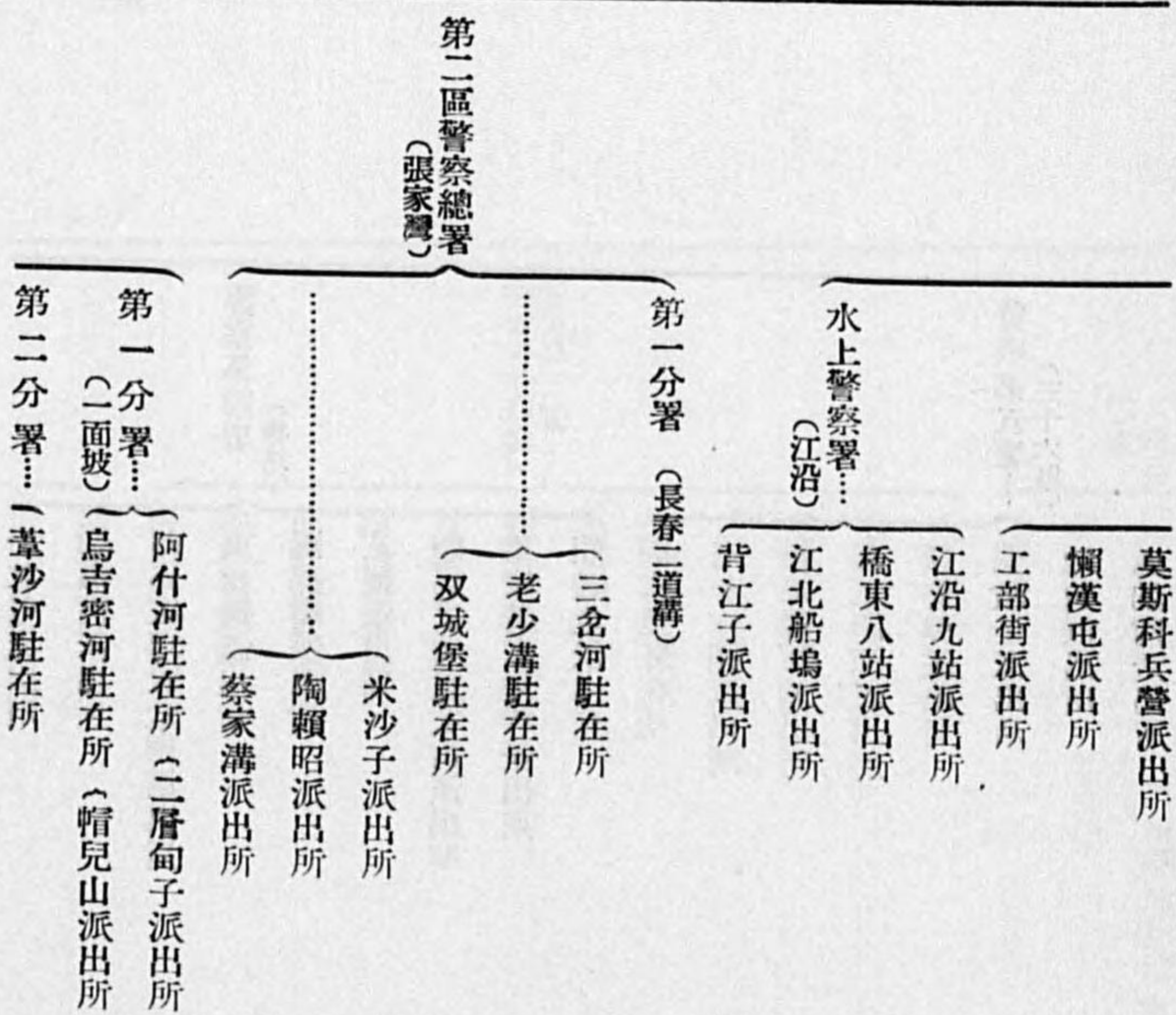
- 江沿派出所
- 水道街派出所
- 地股街派出所
- 大直街分駐所
- 太平橋派出所
- 毛子玫瑰派出所
- 郵政街派出所
- 吉林街派出所
- 車站街派出所
- 西大橋派出所
- 夾樹街派出所
- 西八雜市派出所
- 花園街派出所
- 木拌街派出所
- 磚街派出所
- 油坊街派出所
- 草科街派出所

東省特別區警察總
管理處所轄各機關
系統表

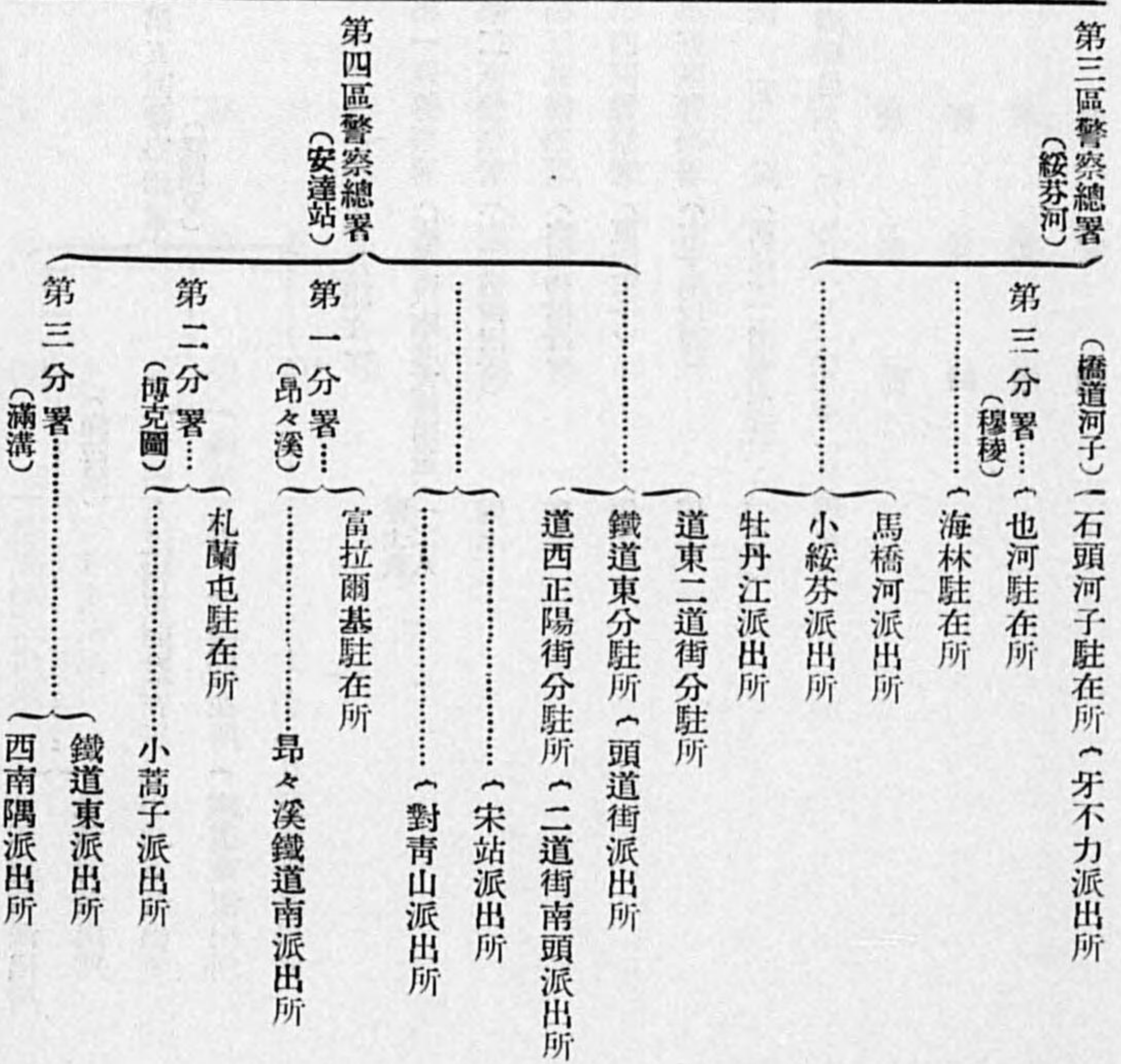
警察第四署
(香坊)

- 小北屯派出所
- 通道街派出所
- 西馬家溝教堂街派出所
- 文化街派出所
- 國課街派出所
- 花園派出所
- 新馬家溝盧家街派出所
- 馬家溝潔淨街派出所
- 鼎新屯派出所
- 顧鄉屯駐在所
- 三十六棚派出所
- 新正陽河派出所
- 舊正陽河派出所
- 新安埠派出所
- 偏臉子派出所
- 地包派出所
- 地錦街派出所

警察第五署
(三十六棚)



第三區警察總署 (綏芬河)



第五區警察總署
(滿洲里)

第一分署

(海拉爾)

新四道街派出所
免渡河派出所

滿站五道街東頭駐在所 (小北屯派出所)
滿站五道 西頭駐在所 (鐵道南派出所)

札蘭諾爾派出所

傅家甸警察系統

傅家甸警察系統 (一九二九年一月現在)

警士數 一二八

第一區警察署 (正陽街、南北大街附近)

第二區警察署 (十二道街附近)

第三區警察署 (水冒街附近)

第四區警察署 (東四家子)

第五區警察署 (太平橋以西)

保安隊 (所在十二道街附近) 二〇〇

濱江警察廳
(道外正陽街)

東省特別區警察總管理處職員左の如し。(一九二九年一月現在)

- 處長 米春霖
- 副處長 賈文錡
- 秘書 莘文
- 同 吳家錄

- 同 梁之瀚
- 督警長 吳奎昌
- 教練督警長 徐奎昌
- 第一科々長 楚重三
- 第二科々長 張昭瑛
- 第三科々長 莊昭瑛
- 第四科々長 戰興邦
- 繙譯主任 董天眞
- 繙譯主任 白續昌
- 執照主任 紀錫銘
- 一區第一署々長 孫世福
- 一區第二署々長 李至斌
- 一區第三署々長 李蔚紹
- 一區第五署々長 李蔚紹
- 水上警察署々長 楊銘陞
- 探訪局々長 賈安陞
- 二區總署長 李錦芝
- 三區總署長 喬文鴻

四區總署長 祝 大同
 五區總署長 沈 崇 岱
 戶籍主任 徐 彬 禮
 庶務主任 朱 鳳 舞

註 東省特別區警察編制大綱 (民國九年十二月十日內務部呈准)

- 第一條 東支鐵道沿線附屬地内全部ヲ特別區域トナス
- 第二條 東省特別區警察總管理處ヲ哈爾濱ニ設ケ兼ニ設置セル警察局及其附屬機關ハ同時ニ之ヲ廢止ス
- 第三條 東省特別區警察總管理處ニ處長一名ヲ置キ內務總長ヨリ大總統ニ申請シテ任命ス
- 第四條 處長ハ內務總長ノ命令ヲ受ケ東省特別區内地方警察行政事項ヲ管理シ吉黑兩省或ハ東支鐵道ト關聯セル事項發生セル場合ハ吉黑兩省最高行政長官或ハ東支鐵道督辦ノ指示ヲ承クヘモノトス
- 第五條 東支鐵道沿線繁華ノ地方ニハ警察署、分署及駐在所ヲ設クルコトヲ得處長ヨリ適宜之ヲ配置ス各警察署ニ署長一名ヲ置キ廳任ヲ以テ之ニ充テ各分署駐在所ニ分署長一名駐在所長一名ヲ置キ委派ヲ以テ之ニ充ツ
- 第六條 東省特別區ノ警察教育ニ對シテハ內務總長ヨリ督練官一名ヲ任命シ處長ト協議ノ上督練公所ヲ組織シテ教練事項ヲ督理セシム其督練公所規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第七條 東省特別區警察總管理處ト東省鐵路路警及特別區ニ連接セル各地方警察機關トノ管轄權限ハ該處ヨリ草案ヲ作成シ內務部ニ申請シテ其承認ヲ經ヘシ
- 東省特別區警察總管理處組織章程 (民國十年一月九日內務部呈准)
- 第一條 總管理處々長ハ東省特別區警察編制大綱ノ規定ニ依リ內務總長ノ命令ヲ承ケ東支鐵道哈長、哈綏、哈滿間各沿線附屬地内ニ於ケル警察行政事項ヲ管轄シ所屬職員ヲ指揮監督ス

- 第二條 處長ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ單行警察章程ヲ發布スルコトヲ得但シ內務總長ニ申請シテ承認ヲ經ヘシ
- 第三條 處長ハ所屬職員ノ處方或ハ命令ニシテ法令ニ違反シ又ハ越權行爲ト認メタル時ハ之ヲ停止シ或ハ免職スルコトヲ得
- 第四條 總管理處ハ事務上必要アルトキハ副處長二名ヲ増設スルコトヲ得副處長ハ處長ノ指示ヲ受ケ職務ヲ輔佐スルモノトス
- 副處長ハ內務總長ニ申請シテ任命ス
- 第五條 總管理處ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ四科ヲ分設スルコトヲ得第一、第二ノ順序ヲ以テ之ヲ列記シ各科ノ管掌事務ハ處長ヨリ草案ヲ作成シ內務總長ニ申請シ其承認ヲ經ヘキモノトス
- 第六條 總管理處ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ左記各員ヲ設クルコトヲ得
- | | | | |
|-----|--------|-----|--------|
| 秘書 | 一名乃至三名 | 科長 | 四名 |
| 科員 | 十六名以內 | 督察長 | 一名 |
| 督察員 | 十名以內 | 技師 | 一名 |
| 技手 | 一名乃至二名 | 翻譯員 | 二名乃至四名 |
- 第七條 總管理處ニ於テ東省特別區警察編制大綱ノ規定ニ依リ區ヲ分チ署ヲ設クル時ハ各該區署所ノ巡官及長警配置數ト共ニ一括シテ處長ヨリ內務總長ニ申請シテ其査定ヲ經ヘシ
- 第八條 各警察署ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ左記各員ヲ設クルコトヲ得
- 署長ハ各署一名
- 署員ハ各署四名以下
- 翻譯員ハ各署一名乃至二名
- 第九條 總管理處ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ左記各隊ノ編成配置ヲ爲スコトヲ得
- 保安警察隊

保安警察馬隊
衛生警察隊

各警察隊ニ各隊長ヲ設ケ配置ノ都合ニ依リ更ニ各分隊長ヲ設クルコトヲ得其編制ハ處長ヨリ内務總長ニ申請シテ其決定ヲ仰クヘキモノトス

第十條 駐在所ニ各所長一名ヲ置ク所長ハ該管署長ニ於テ定員中ノ巡官ヨリ選抜シ處長ニ申請シテ任命ス

第十一條 秘書科長、督察長、技師、署長、科員、督察員、技手、翻譯員、署員及分隊長ハ署長ヨリ規定ニ依リ内務總長ニ申請シ其承認ヲ經テ任命ス

第十二條 副署長、及前條ノ各員ハ均シク任命後章程ニ遵ヒ警察職員證ヲ請求スヘシ

第十三條 秘書ハ署長ノ命ヲ承ケ機密事項ヲ取扱フ

第十四條 科長ハ長官ノ命ヲ承ケ該科ノ事務ヲ掌理シ科員ハ長官ノ命ヲ承ケ該科ノ事務ヲ輔佐ス

第十五條 督察長及督察員ハ長官ノ命ヲ承ケ全區ノ警察ヲ督察ス

督察規則ハ處長ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第十六條 技師及技手ハ長官ノ命ヲ承ケテ技術事務ヲ取扱フ

第十七條 翻譯員ハ長官ノ命ヲ承ケテ譯述事務ヲ取扱フ

第十八條 署長ハ處長ノ命ヲ承ケ該署ノ警務ヲ司リ、署員ハ長官ノ命ヲ承ケ該署ノ警務ヲ輔佐ス

第十九條 分署長、署員、駐在所長ハ長官ノ命ヲ承ケ該署ノ警務ヲ司ル

第二十條 隊長及分隊長ハ處長ノ命ヲ承ケ該隊ノ警務ヲ司ル

第二十一條 總管理處及各署隊ハ現行警察官制ノ規定ニ依リ雇員ヲ適宜使用スルコトヲ得

第二十二條 總管理處及各署隊ノ執務細則ハ處長ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第二十三條 本章程ハ公布ノ日ヨリ施行ス若シ不備ノ點アル時ハ内務總長ニ於テ之ヲ修正スルコトヲ得

第六章 東省特別區行政經理

東省特別區行政經理事務は、東省特別區行政長官公署總務科並財政處の管掌する處である。

總務科第一股は租稅一般を掌り、財政處は、地畝管理局、警察總管理處、市政管理局の收入事務を管掌す。

註 各種別租稅額其の他は、自治制の部、地畝管理局等參照。

結 言

以上吾人は東支鐵道附屬地の露治時代並支那回收後に於ける行政一般を通觀した。

東支鐵道の地位は露治時代に於ては一面經濟的機關たると同時に他面政治的機關たりしが故に、其の附屬地に有する行政權も亦強力無比にして絶對的且排他的のものであつたが、露國革命を期として支那は回收に續ぐに回收を以てし遂に一九二四年の露支、露奉協定に於ては露國は同鐵道に附隨せる政治的軍事的機能を完全に喪失し單なる商業機關として残れる同鐵道を露支兩國共同管理となすに至つた。しかも支那の國權回收熱は更に日一日と熾烈なるものあり、露國の有する右の共同管理の地位すら屢々危殆に瀕するかに見へたのである。

然るに本年七月支那の武力的同鐵道回收に對する露國の態度頗る強硬にして十一月に至りては兵を海拉濱に迄進め士氣甚だ優勢、こゝに露支兩國の形勢逆轉を豫想せらるゝに至つた。近く締結せらるべき細目協定に於て萬一露國の東支鐵道沿線駐兵權にても認むることありとせんか、東省特別區行政權の上に支那をして晏如たらしめ得ざる因子を生ずるに非ずやと考へらる。今や細目協定を前にして東支鐵道は何等の豫斷を許さざる渾沌の中に

あるといふべきである。(一九二九年十一月記)

参 考 資 料

- 一、今井嘉幸氏著「支那國際法論第一卷」
- 一、泉哲氏著「最近國際法批判」
- 一、永雄策郎氏著「植民地鐵道の世界經濟的及世界政策的研究乃至植民地鐵道の外的研究」(一)及(二)
- 一、淺野虎次郎氏著「滿洲二十年史」
- 一、久間猛氏著「北滿洲の政治經濟的價值」
- 一、齋藤良衛氏著「開市場の性質」
- 一、哈運資料「東支鐵道を中心とする露支外交の消長」上、下、
- 一、哈調資料「露西亞が讓歩するまで」
- 一、同 「東支鐵道警察の概要」
- 一、同 「哈爾濱市政問題資料」
- 一、同 「東支鐵道沿線教育施設の現状」
- 一、同 「東支鐵道附屬地問題の概要」
- 一、同 「東支鐵道土地回收運動に關する考證」
- 一、同 「東支鐵道附屬地の權利に就て」

- 一、滿鐵調査課編「近代露支關係の研究」
- 一、同 「滿蒙に於ける露國の現勢力」
- 一、同 「滿蒙全書」第二卷
- 一、同 「時局と東清鐵道」
- 一、同 「南滿洲鐵道株式會社關係條約集」
- 一、同 「露亞銀行と東支鐵道との關係に就て」
- „Исторический Обзор К. В. ж. д. т. 1.“
- „Особый Район Восточных Провинций Китайской Республики.“
- „Весь Харбин“ 1926 г. 參照
- „Статистический Ежегодник К. В. ж. д. на 1927 г.“
- „Северная Маньчжурия“ К. В. ж. д.

雜 誌

「滿鐵調査時報」哈爾濱事務所「調査時報」「露亞時報」東洋「地方經營」「外交時報」「新天地」
„Рестник Маньчжурии“, „Экономический бюллетень“.

新 聞

哈爾濱日日新聞、滿洲日報、其他露、支新聞

昭和五年二月十二日印刷
昭和五年二月十五日發行

定價金一圓六十五錢

發行兼編輯者 南滿洲鐵道株式會社庶務部調査課 佐田弘治 郎

印刷者 大連市大山通六十三番地 太田信三

印刷所 大連市大山通六十三番地 小林又七 支店

發行所 南滿洲鐵道株式會社

取次販賣所 大連市紀伊町九十一番地 社団法人 中日文化協會

終

